

1. 会務報告

(1) 庶 務

会員に関する件

- ◎ 令和5年1月1日現在の群馬県医師会員数はA会員1,271名、B会員1,047名、C1会員112名、C2会員117名、計2,547名で郡市医師会別会員数は第1表のとおりである。新規入会数はA会員24名、B会員68名、C1会員20名、C2会員60名、計172名であり、前年同期に比較してみるとA会員9名減、B会員6名減、C1会員20名増、C2会員11名増、計16名増である。
- ◎ 令和5年1月1日現在における群馬県医師会の日本医師会員数はA①会員1,268名、A②(B)会員426名、A②(C)会員61名、B会員280名、C会員50名、計2,085名で郡市医師会別会員数は第2表のとおりである。新規入会数はA①会員24名、A②(B)会員21名、A②(C)会員31名、B会員20名、C会員23名、計119名である。
- ◎ 群馬県医師会敬寿会員数（令和5年1月1日76歳に達した会員）は338名で郡市医師会別現況は第3表のとおりである。
- ◎ 令和4年度群馬県医師会会費減免申請者数は326名で第4表のとおりである。
- ◎ 令和4年4月1日以降令和5年3月31日までに物故会員数は26名で第5表のとおりである。

第1表 群馬県医師会員数現況表

令和5年1月1日現在

区 分 医師会別	A	B	C 1	C 2	計	総員対比
前 橋 市	296 (11)	187 (10)	5 (0)	36 (19)	524 (40)	20.6%
高 崎 市	234 (4)	218 (17)	2 (2)	34 (17)	488 (40)	19.2%
桐 生 市	116 (1)	90 (6)	0 (0)	0 (0)	206 (7)	8.1%
伊 勢 崎 佐 波	128 (2)	140 (12)	2 (0)	0 (0)	270 (14)	10.6%
太 田 市	127 (1)	53 (1)	0 (0)	0 (0)	180 (2)	7.1%
群 馬 郡	51 (3)	22 (3)	0 (0)	0 (0)	73 (6)	2.9%
渋 川 地 区	56 (0)	47 (2)	1 (0)	7 (4)	111 (6)	4.4%
藤 岡 多 野	51 (0)	55 (3)	0 (0)	12 (6)	118 (9)	4.6%
富岡市甘楽郡	47 (0)	25 (4)	0 (0)	0 (0)	72 (4)	2.8%
安 中 市	28 (0)	32 (1)	0 (0)	0 (0)	60 (1)	2.4%
吾 妻 郡	17 (1)	31 (1)	0 (0)	0 (0)	48 (2)	1.9%
沼 田 利 根	37 (0)	57 (4)	1 (0)	0 (0)	95 (4)	3.7%
館林市邑楽郡	83 (1)	30 (2)	0 (0)	0 (0)	113 (3)	4.4%
群 馬 大 学	0 (0)	60 (2)	101 (18)	28 (14)	189 (34)	7.4%
計	1,271 (24)	1,047 (68)	112 (20)	117 (60)	2,547 (172)	100.0%
前 年 同 期	1,280	1,053	92	106	2,531	
増 減	-9	-6	20	11	16	

() の数字は新規入会数

第2表 日本医師会会員数現況表

令和5年1月1日現在

医師会別	区分	A①	A②(B)	A②(C)	B	C	計	総員対比
前	橋 市	296 (11)	51 (4)	12 (6)	44 (1)	18 (7)	421 (29)	20.2%
高	崎 市	234 (4)	114 (7)	33 (17)	39 (3)	1 (0)	421 (31)	20.2%
桐	生 市	115 (1)	68 (4)	0 (0)	13 (1)	0 (0)	196 (6)	9.4%
伊	勢 崎 佐 波	128 (2)	64 (2)	0 (0)	68 (9)	0 (0)	260 (13)	12.5%
太	田 市	126 (1)	31 (0)	0 (0)	11 (1)	0 (0)	168 (2)	8.1%
群	馬 郡	51 (3)	8 (1)	0 (0)	5 (0)	0 (0)	64 (4)	3.1%
渋	川 地 区	57 (0)	14 (0)	6 (3)	22 (0)	1 (1)	100 (4)	4.8%
藤	岡 多 野	51 (0)	8 (0)	10 (5)	8 (0)	2 (1)	79 (6)	3.8%
富	岡 市 甘 楽 郡	45 (0)	8 (0)	0 (0)	14 (4)	0 (0)	67 (4)	3.2%
安	中 市	28 (0)	22 (1)	0 (0)	10 (0)	0 (0)	60 (1)	2.9%
吾	妻 郡	17 (1)	19 (1)	0 (0)	12 (0)	0 (0)	48 (2)	2.3%
沼	田 利 根	37 (0)	3 (0)	0 (0)	14 (0)	0 (0)	54 (0)	2.6%
館	林 市 邑 楽 郡	83 (1)	14 (0)	0 (0)	6 (1)	0 (0)	103 (2)	4.9%
群	馬 大 学	0 (0)	2 (1)	0 (0)	14 (0)	28 (14)	44 (15)	2.1%
計		1,268 (24)	426 (21)	61 (31)	280 (20)	50 (23)	2,085 (119)	100.0%
前 年 同 期		1,275	430	51	297	47	2,100	
増 減		-7	-4	10	-17	3	-15	

() の数字は新規入会数

第3表 群馬県医師会敬寿会員数現況表

令和5年1月1日現在

医師会別	区分	A	B	C	合 計
前	橋 市	36	51	0	87
高	崎 市	30	42	0	72
桐	生 市	19	19	0	38
伊	勢 崎 佐 波	12	9	0	21
太	田 市	20	11	0	31
群	馬 郡	6	4	0	10
渋	川 地 区	3	10	0	13
藤	岡 多 野	2	8	0	10
富	岡 市 甘 楽 郡	9	5	0	14
安	中 市	3	2	0	5
吾	妻 郡	1	3	0	4
沼	田 利 根	4	6	0	10
館	林 市 邑 楽 郡	12	7	0	19
群	馬 大 学	0	4	0	4
計		157	181	0	338

(注) 敬寿会員は76歳以上とする。

第4表 群馬県医師会会費減免状況表

令和4年4月1日から令和5年3月31日

(金額単位：千円)

区分 医師会別	高 齢				疾病その他				研 修 医			専 攻 医		
	A	B	合 計		A	B	合 計		C 2	合 計		C 1	合 計	
	人数	件数	人数	金額	人数	人数	人数	金額	人数	人数	金額	人数	人数	金額
前 橋 市	11	33	44	2,560	1	1	2	110	36	36	432	5	5	60
高 崎 市	16	30	46	2,890	1	0	1	150	34	34	408	2	2	16
桐 生 市	9	9	18	1,550	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伊勢崎佐波	2	5	7	430	0	0	0	0	0	0	0	2	2	24
太 田 市	6	10	16	1,060	0	1	1	30	0	0	0	0	0	0
群 馬 郡	1	1	2	180	1	0	1	150	0	0	0	0	0	0
渋 川 地 区	0	7	7	190	0	0	0	0	7	7	84	1	1	12
藤 岡 多 野	0	3	3	90	1	0	1	50	12	12	144	0	0	0
富岡市甘楽郡	3	5	8	490	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
安 中 市	1	0	1	150	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
吾 妻 郡	1	1	2	180	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
沼 田 利 根	2	3	5	380	0	0	0	0	0	0	0	1	1	12
館 林 市 邑 楽 郡	2	2	4	360	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
群 馬 大 学	0	1	1	30	0	0	0	0	28	28	336	28	28	328
合 計	54	110	164	10,540	4	2	6	490	117	117	1,404	39	39	452
総 合 計	326名 12,886千円													

第5表 物故会員氏名（敬称略）

令和4年4月1日から令和5年3月31日

所属郡市	物故者氏名	死亡年月日	享年
桐 生 市 医 師 会	赤 松 隆	令和4年4月2日	88歳
前 橋 市 医 師 会	佐々木 貞	令和4年5月6日	91歳
太 田 市 医 師 会	清 村 道 生	令和4年5月19日	75歳
高 崎 市 医 師 会	樋 口 忠	令和4年5月19日	86歳
高 崎 市 医 師 会	綿 貫 達 夫	令和4年6月8日	97歳
渋 川 地 区 医 師 会	森 喜 一	令和4年6月16日	75歳
高 崎 市 医 師 会	新 井 恭 子	令和4年6月20日	93歳
桐 生 市 医 師 会	下 山 洸	令和4年7月14日	82歳
太 田 市 医 師 会	織 間 利 英	令和4年8月1日	95歳
富岡市甘楽郡医師会	須 藤 謙三郎	令和4年8月2日	90歳
桐 生 市 医 師 会	藤 江 篤	令和4年8月7日	72歳
渋 川 地 区 医 師 会	石 北 寿 子	令和4年8月11日	94歳
伊勢崎佐波医師会	小 倉 薫	令和4年8月17日	68歳
吾 妻 郡 医 師 会	吉 田 和 彦	令和4年9月27日	66歳
渋 川 地 区 医 師 会	奈 良 純 夫	令和4年10月22日	91歳
太 田 市 医 師 会	枡 原 慶 一	令和4年11月8日	97歳
高 崎 市 医 師 会	金 澤 紀 雄	令和4年11月19日	75歳
館 林 市 邑 楽 郡 医 師 会	金 丸 稔	令和4年11月22日	63歳
前 橋 市 医 師 会	込 谷 惇	令和4年12月3日	97歳
群 馬 郡 医 師 会	狩 野 和 夫	令和4年12月11日	90歳
高 崎 市 医 師 会	黛 隆 介	令和4年12月12日	88歳
前 橋 市 医 師 会	塙 馨	令和4年12月20日	97歳
高 崎 市 医 師 会	榊 原 章	令和5年1月10日	88歳
前 橋 市 医 師 会	金 古 進	令和5年1月24日	95歳
伊勢崎佐波医師会	笛 木 和 彦	令和5年1月27日	76歳
高 崎 市 医 師 会	山 内 康 彦	令和5年3月19日	66歳

(2) 事業

I 医療従事者資質向上事業

第1. 医療保険対策事業

国民皆保険制度のもと、県民が適切な医療を受けることができるよう医療保険制度に関する事項について検討し、会員への教育・指導・情報提供を行うことにより県民へ安心・安全な医療を提供する。

1. 医療保険委員会

郡市医師会担当理事に対し保険審査に関する取り組み及び今後の方向性等を報告した。令和4年度関東甲信越医師会連合会医療保険部会の協議内容及び医療保険に関するアンケート結果について検討が行われた。また、「令和4年度診療報酬改定に対する評価事項」及び「令和6年度診療報酬改定に対する要望事項」について考察が行われた。

(1) 第1回

開催日：令和4年7月13日 於：群馬県医師会（WEB開催）出席者：19名

〈議題〉

- ア. 日本医師会からの医療保険に関する情報の取り扱い方について
- イ. 群馬県医師会報「保険室だより」への投稿依頼について
- ウ. 関東甲信越医師会連合会医療保険部会の検討テーマと提案要旨について

(2) 第2回

開催日：令和4年11月29日 於：群馬県医師会（WEB開催）出席者：20名

〈議題〉

- ア. 関東甲信越医師会連合会医療保険部会（R4.9.11開催）の報告について
- イ. 医療保険に関するアンケートの結果について

(3) 第3回

開催日：令和5年1月26日 於：群馬県医師会（WEB開催）出席者：24名

〈議題〉

- ア. 「令和4年度診療報酬改定に対する評価事項」及び「令和6年度診療報酬改定に対する要望事項」について

2. 個別指導

対象医療機関32施設（病院2、診療所23）。関東信越厚生局群馬事務所の依頼により全ての個別指導に県医師会理事が同席し、意見を述べた。

3. 関東甲信越医師会連合会医療保険部会

開催日：令和4年9月11日 於：群馬県医師会（WEB開催）出席者：49名

各都県の医療保険担当理事がWEB会議で出席し、会議では次の検討テーマについて、協議・意見交換が行われた。

- (1) 外来感染対策向上加算の近況と感染防止対策評価について
- (2) リフィル処方箋について
- (3) 今年度診療報酬改定実施後におけるオンライン診療の実態と課題

第2. 生涯教育事業

医師は、日進月歩の医学・医療を実践するために、生涯に亘って知見を広げ、技能を磨き、常に自らを研鑽する責務を負っている。県医師会では、日本医師会生涯教育制度に従い、84のカリキュラムコードに対応

した講習会・講演会・ワークショップ・学会等を県内で開催した。

群馬県における医師確保対策の取り組みを強化するため群馬県が令和元年10月に立ち上げた「ぐんま総合医会」の活動の一つとして研修医同士の交流や情報交換の場となる、「群馬県新臨床研修医合同オリエンテーション」の開催を担当している。

1. 学術・生涯教育委員会

開催日：令和4年9月27日 於：群馬県医師会（WEB開催） 出席者：17名
〈議題〉

- (1) 令和3年度生涯教育制度都市別（診療科目別）単位取得状況について
- (2) 令和3年度生涯教育制度高単位取得者について
- (3) 令和3年度カリキュラムコード実施状況について
- (4) 令和4年度秋季群馬県医学会について
- (5) 令和5年度春季群馬県医学会の開催について
- (6) 生涯教育講座受付用PC・ICカードリーダーについて

2. 日本医師会生涯教育制度

令和3年度における会員の生涯教育講座出席の記録をシステムにて管理し、一括申告を行った。なお、令和4年4月から令和5年3月までに日本医師会生涯教育制度対象講座として認定した件数は828件であった。

3. 令和4年度群馬県新臨床研修医合同オリエンテーション

開催日：令和4年4月14日 於：Gメッセ群馬 出席者：132名

第3. 看護師等充足対策事業

看護師不足を解消するために看護師を志望する者を積極的に公募した。

また、医師会立看護師等養成所の円滑な運営を支援するための施策を実施するとともに情報収集に努め、情報を共有した。さらに、助産師充足対策として、助産師養成の助成を行った。

1. 医師会立看護師等養成所長会議

開催日：令和4年6月25日 於：群馬県医師会（WEB開催） 出席者：60名

- (1) 医務課からの連絡事項
 - ア. 令和4年度主な看護職員確保対策について
 - イ. 令和3年度末看護職員業務従事者届結果について
 - ウ. 看護師等養成所の卒業生就業状況及び入学状況について
 - エ. 遠隔授業・ICT補助金について
 - オ. 令和4年度委託訓練における准看護師コースの実施状況について
- (2) 群馬県立県民健康科学大学からの連絡事項
- (3) 議事及び情報交換等
 - ア. 沼田准看護学校の現状について（沼田准看護学校）
 - イ. アンケート調査結果について（群馬県医師会）
 - ウ. その他

2. 医療関連職対策委員会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

3. 高看担当者会議

開催日：令和5年2月28日 於：群馬県医師会（WEB開催） 出席者：16名

- (1) 令和6年度入学試験の日程について
- (2) 入学状況及び卒業生進学・就業状況について

- (3) 国家試験対策について
- (4) 学校運営について
- (5) 令和5年度医師会立看護師等養成所長会議の開催について
- (6) その他

4. 准看担当会議

開催日：令和5年2月21日 於：群馬県医師会（WEB開催） 出席者：19名

- (1) 生徒募集について
- (2) 入学試験及び応募状況について
- (3) 入学状況及び卒業生進学・就業状況について
- (4) 准看護師検定試験対策について
- (5) 学校運営について
- (6) 令和5年度医師会立看護師等養成所長会議の開催について
- (7) その他

5. 准看護師生徒募集

- (1) 准看護師生徒募集ポスター

令和3年度と同デザインの物で文字色を変更して作成し会員及び関係機関へ配布した。

- (2) 生徒募集広告

上毛新聞（令和4年10月15日掲載）に各学校の入試日程を記載した広告を掲載し周知徹底を図った。

6. 高看入試問題

医師会立看護師養成所2年課程の入学試験は、同日に統一問題にて実施している。入試問題の作成にあたっては、当番校を中心に「入試問題検討会」を2回実施した。

7. 群馬県医師会長賞

医師会立看護師等養成所の卒業生のうち各養成所から推薦された15名の優秀者に「群馬県医師会長賞」として賞状及び記念品を授与した。

8. 助産師養成について

群馬県における周産期医療崩壊を食い止める一助として開設した高崎市医師会看護専門学校助産学科の運営支援のため、各都市医師会の協力を得て助成を行った。卒業生は、県内各所の周産期医療現場に就業し、第一線で活躍している。

9. 日本医師会認定医療秘書養成への支援

近年の医療事務の情報処理高度化に対応できる人材育成を行い、チーム医療を確保するため、日本医師会認定医療秘書養成の支援を行った。

- (1) 支援先への医療秘書講義に対する講師の派遣。7名実施。計15回。

第4. 介護保険・主治医研修事業

介護保険制度における主治医の役割を理解するとともに、要介護認定及び要支援認定における審査判定の重要な資料となる主治医意見書の記載が適切に行われるよう、令和4年度は群馬県との共催により本会で主治医研修会を開催した。

介護保険委員会では、郡市医師会相互の情報伝達、情報交換等を図った。

外部の会議では、関東甲信越医師会連合会介護保険部会に参加した。

1. 主治医研修会

開催日：令和5年1月23日 於：群馬県医師会（ハイブリッド開催） 出席者：87名

(1) 行政説明

演題：「主治医意見書について」

講師：群馬県健康福祉部介護高齢課 企画・介護保険係 狩野貴男 係長

(2) 研修

演題：「認知症疾患の日常診療」

講師：渋川地区医師会介護保険担当理事 田中 永 先生

2. 関東甲信越医師会連合会介護保険部会

開催日：令和4年9月11日 於：群馬県医師会（WEB開催） 出席者：43名

〈議題〉

(1) 地域共生社会における医師会の役割について

(2) 高齢者施設等における医療支援の更なる強化について

（新型コロナウイルス感染症のクラスター発生対策）

(3) かかりつけ医と地域包括ケアシステムについて

3. 介護保険委員会（令和4年度1回開催）

開催日：令和4年12月15日 於：群馬県医師会（WEB開催） 出席者：16名

〈検討事項〉

(1) 令和4年度関東甲信越医師会連合会介護保険・地域包括ケア部会の報告について

(2) 令和4年度主治医研修会の開催について

(3) その他

第5. 産業衛生対策事業

1. 産業医研修会の開催

日本医師会認定産業医制度実施要領に基づき、指定カリキュラムの様々な研修会を県医師会主催、郡市医師会等との共催により実施した。

(1) 生涯更新専門研修会

開催日：令和4年11月13日 於：群馬建設会館 出席者：69名

演題：「職域における健康診断の概要と産業医としての留意点」

講師：群馬大学公衆衛生学 非常勤講師 藤田晴康 先生

演題：「職場のメンタルヘルス ～最近の動向～」

講師：群馬大学健康支援総合センター 副センター長・教授 竹内一夫 先生

演題：「メンタルヘルスにおける脂質栄養学の役割 ～ω3系多価不飽和脂肪酸を中心に～」

講師：群馬大学大学院医学系研究科 公衆衛生学分野 教授 浜崎 景 先生

演題：「労災補償制度の概要・労災診療費算定基準について」

講師：群馬労働局労災補償課 地方労災医療監察官 藤井 章 先生

(2) 産業医実地研修会

ア. 作業環境測定実習

イ. 職場巡視

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

(3) 郡市医師会等との共催

実施回数：77回

2. 産業医申請手続き

産業医は「厚生労働省令で定める一定の要件を備えた者でなければならない」と労働安全衛生法で定めら

れており、日本医師会産業医学基礎研修会修了者はこれに該当する。日本医師会認定産業医の申請は都道府県医師会を通じて日本医師会へ届出を行うため、令和4年度は新規18名、更新201名の申請手続きを行った。

3. 産業保健に関する会議等への出席

(1) 産業保健活動推進全国会議

開催日：令和4年4月15日 於：日本医師会（テレビ会議システム利用）

第6. 労災・自賠責保険対策事業

労災指定医療機関は、労災診療費の仕組みを理解し、労災診療費算定基準の適正な労災医療費の請求をしなければならない。労働者の業務上の災害並びに通勤災害による疾病・障害・死亡等に対して迅速かつ公正に保護するため、必要な保険給付を行う。併せて、労働者の早期社会復帰の促進、当該労働者及びその遺族の援護、労働者の安全及び衛生の確保等を図り、もって労働者の福祉の増進に寄与することを目的として、県医師会では労災・自賠責保険における各種情報収集・解析、審査基準・疑義解釈等を検討し、会員に向け周知を行った。

1. 自動車保険医療連絡協議会

年間7回開催

2. 労災保険医療説明会

開催日：令和4年11月13日 於：群馬建設会館

演題：「労災補償制度の概要・労災診療費算定基準について」

講師：群馬労働局労災補償課 地方労災医療監察官 藤井 章 先生

第7. 救急・災害医療対策事業

救急・災害対策事業については医療機関・群馬県・消防機関・その他関係する機関等と連携を図りながら救急医療に積極的な取り組みを行い、県民の安心・安全な生活に寄与した。

大規模災害発生時には迅速に災害医療体制を立ち上げ、整備を図り、災害対策基本法に基づき群馬県と指定地方公共機関が締結した「災害時の医療救護活動についての協定」、関東甲信越医師会との「大規模災害発生時における医療救護活動の確保に関する協定」に従い、災害発生時における救護所等への救護班の派遣等を行う。県医師会では救急災害が発生した場合、速やかに「群馬県医師会被災地医療支援実施本部」を設置することとしている。

平成29年度より開始した「五師会災害研修」については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため2年間休止となったが、令和4年度は3年振りに開催した。

また、平成30年度より開始された「日本医師会JMAT研修」では、基本編、統括編をそれぞれ受講した。

1. 救急・災害医療対策委員会

開催日：令和4年11月16日 於：群馬県医師会（WEB開催）

〈議題〉

- (1) 令和4年度関医連救急災害部会（令和4年9月11日開催）の報告
- (2) 令和4年度五師会災害研修の報告
- (3) 日本医師会JMAT研修について
- (4) 災害医療コーディネーター研修について
- (5) 災害時の透析医療確保に関する広域関東圏連携会議の報告

2. 「救急の日」記念行事

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため講演動画を配信

演題：「産婦人科救急疾患を見逃さない」

講師：群馬大学医学部附属病院 周産母子センター 助教 日下田大輔 先生

演題：「新型コロナウイルスから学んだ感染症対策」

講師：多野藤岡広域消防本部 係長 矢島洋介 先生

3. 群馬県救急医療懇談会

開催日：令和4年9月17日 於：群馬大学臨床大講堂

4. 五師会災害研修

(1) 第1回

開催日：令和4年10月23日 於：前橋赤十字病院 講堂 出席者：14名

(2) 第2回

開催日：令和4年11月6日 於：前橋赤十字病院 講堂 出席者：22名

5. 関東甲信越医師会連合会救急災害部会

開催日：令和4年9月11日 於：群馬県医師会（WEB開催）

〈議題〉

(1) 医師の働き方改革と救急医療について

(2) かかりつけ医と救急医療・災害医療・感染症医療（新興感染症、パンデミック）について

(3) 災害医療：避難所運営、避難行動要支援者、高齢者施設対応 ～コロナ禍での災害医療対応も含め～

6. 日本医師会 JMAT 研修

(1) 基本編

開催日：令和5年1月8日 於：群馬県医師会（WEB開催）

(2) 統括編

開催日：令和5年3月19日 於：群馬県医師会（WEB開催）

第8. 群馬県医学会事業

1. 群馬県医学会

(1) 春季群馬県医学会

開催日：令和4年5月27日 於：群馬県医師会（WEB開催） 出席者：73名

演題：「哺乳類腸呼吸の可能性」

講師：東京医科歯科大学 統合研究機構 教授 武部貴則 先生

(2) 秋季群馬県医学会

開催日：令和4年11月26日 於：群馬県医師会（WEB開催） 出席者：93名

研究発表：当日発表8題・誌上発表26題

ぐんまレジデントグランプリ2022グランプリ受賞者による発表

令和3年度生涯教育制度高単位取得者の表彰

〈群馬大学特別講演 北関東医学会推薦〉

演題：「がんゲノム医療 ～群大病院の現状と課題～」

講師：群馬大学医学部附属病院腫瘍センター長 塚本憲史 先生

〈特別講演〉

演題：「金メダリスト・小平奈緒のコーチングをふりかえり

～スポーツ医・科学を活用したコーチング実践～」

講師：信州大学学術研究院（教育学系） 結城匡啓 先生

2. 「群馬医学」雑誌

115号（特別講演号）を2,970部、116号（一般講演号）を2,980部作成し、会員並びに関係先へ配布した。

第9. がん対策事業

群馬県からの委託事業として、「健康診査管理指導等事業実施のための指針」に基づき、がん検診に従事する医師等の技術向上を図る目的で、最新の医療情報を提供するため講習会を開催した。同様に群馬県からの委託事業として、がん検診受診体制を整備する目的で、医療機関への調査を実施した。

群馬県がん登録事業では、群馬県がん対策推進条例に基づいた事業の実施に協力し、また広報活動を支援するとともに多くのがん情報収集の推進に努めた。

また、がん対策に関する多くの会議・協議会に出席し関係機関と連携を図った。

ハイブリッド開催（WEB視聴・会場視聴）で下記講習会を開催した。

1. がん検診等従事者講習会

(1) 胃内視鏡検診従事者講習会

ア. 開催日：令和5年2月10日 於：群馬県医師会 出席者：49名

演題：「内視鏡検診発見症例の検討」

講師：群馬県健康づくり財団診療所 院長 茂木文孝 先生

イ. 開催日：令和5年3月18日 於：群馬県医師会 出席者：62名

シンポジウム

テーマ：「地域の胃内視鏡検診の現況と将来」

シンポジスト：萩原内科医院 院長 萩原廣明 先生

西内おなかのくどう内科 院長 工藤智洋 先生

えはら内科クリニック 院長 江原浩司 先生

明和セントラル病院 院長 海宝雄人 先生

群馬県健康づくり財団診療所 院長 茂木文孝 先生

演題：「胃がん内視鏡検診のコツ ―その胃癌、見逃していませんか?―」

講師：公益財団法人がん研究会有明病院 上部消化管内科 胃担当部長 平澤俊明 先生

(2) 大腸がん検診従事者講習会

開催日：令和5年2月2日 於：群馬県医師会 出席者：56名

演題：「我が国における大腸がん検診の現状（央協会の取組を交えて）」

講師：公益財団法人宮城県対がん協会 がん検診センター

消化器内視鏡検診センター 副センター長 只野敏浩 先生

(3) 肺がん検診読影従事者講習会

開催日：令和5年3月1日 於：群馬県医師会 出席者：62名

演題：「肺がん薬物治療アップデート」

講師：群馬大学医学部附属病院呼吸器科・アレルギー内科准教授 砂長則明 先生

(4) がん細胞診・組織診従事者講習会

ア. 開催日：令和4年7月2日 於：群馬県立県民健康科学大学 出席者：83名

演題：「進歩する放射線治療」

講師：国立がん研究センター東病院 放射線治療科 茂木 厚 先生

演題：「本邦における子宮頸がん検診の重大について ～現実的な観点から考える～」

講師：帝京大学医学部 産婦人科 主任教授 長阪一憲 先生

イ. 開催日：令和5年2月4日 於：群馬県医師会 出席者：88名

演題：「病理・細胞診 AI を活用した癌の予後・遺伝子変異予測」

講師：公益財団法人がん研究会有明病院 研究員 高松 学 先生

(5) 子宮がん検診細胞診従事者講習会

開催日：令和5年2月25日 於：群馬県医師会 出席者：55名

演題：「子宮頸がん予防には HPV ワクチンと HPV 検査を

ー日本は周回遅れどころか世界最悪かもー」

講師：自治医科大学附属さいたま医療センター 産婦人科教授 今野 良 先生

(6) 乳がん検診従事者講習会

開催日：令和4年10月24日 於：群馬県医師会 出席者：25名

演題：「トモシンセシスと乳癌検診」

講師：独立行政法人国立病院機構渋川医療センター 特命診療顧問 横江隆夫 先生

(7) 胃がん検診読影従事者講習会

開催日：令和4年11月22日 於：群馬県医師会 出席者：39名

演題：「X線胃がん検診発見症例の検討」

講師：群馬県健康づくり財団診療所 院長 茂本文孝 先生

2. がん検診受診体制整備事業

県内市町村で実施するがん検診の精密検査の内、最も受診率の低い大腸がん検診精密検査の受診率向上を図ることを目的とし、大腸がん検診受診体制の実情の調査結果を群馬県ホームページに大腸がん検診の精密検査に対応している医療機関リストとして掲載している。

第10. 老人保健・認知症対策事業

高齢者が日頃から受診する医療機関の主治医を対象に、適切な認知症の診療の知識や技術、認知症患者とその家族を支える方法等を習得するための研修会を群馬県との共催で開催した。

一方、特定健診・特定保健指導については健診の相互乗り入れと健診項目及び料金の統一に向け、郡市医師会を通じて市町村国保の集合契約への参加を呼びかけた。

1. 認知症専門医及び認知症サポート医フォローアップ研修

開催日：令和5年3月26日 於：群馬県庁（WEB開催） 出席者：37名（医師）

演題：「認知症の診断・治療・ポジティブケア ～本人も医療職もウェルビーイング～」

講師：群馬大学名誉教授 山口晴保 先生

2. 認知症サポート医養成研修事業

厚生労働省が実施する「認知症サポート医養成研修事業」には、認知症に関する地域の牽引役になっていたただけの医師16名を推薦し、受講いただいた。研修を修了した医師には、今後地域においてかかりつけ医を対象とした認知症対応力の向上を図るための研修の企画立案、かかりつけ医の認知症診断等に関する相談役、アドバイザーとなる他、認知症サポート医（推進医師）との連携体制の構築、各地域医師会と地域包括支援センターとの連携づくりへの協力の役割を担っていただく。

第11. スポーツ医事業

1. 研修会開催

日本医師会認定健康スポーツ医制度の実施要領に基づき、他団体と共催で健康スポーツ医を対象に更新研修会を開催した。

(1) 開催日：令和4年4月16日 於：群馬大学医学部附属病院アメニティー講義室

講演：演題：「スポーツと腰痛」

講師：ぐんまスポーツ整形外科 山本敦史 先生

演題：「スポーツ医学を学問にしよう」

講師：公益財団法人 日本スポーツ医学財団 理事長 松本秀男 先生

共催：群馬県スポーツ協会

(2) 開催日：令和5年3月23日 於：桐生メディカルセンター

演題：「心臓病予防・治療のための新しい運動療法」

講師：群馬県立心臓血管センター 副院長 安達 仁 先生

共催：桐生市医師会

2. 申請手続き

日本医師会認定健康スポーツ医の新規・更新手続きを行った。

令和4年度対象者：新規6名 更新18名

第12. 緩和ケア対策事業

「がん対策基本法」の基本的施策の一つに「がん医療の均霑化の促進等」が定められており、「がん対策推進基本計画」においては、重点的に取り組むべき課題として「治療の初期段階からの緩和ケアの実施」が掲げられ、「すべてのがん診療に携わる医師が研修等により、緩和ケアについての基本的な知識を習得すること」が個別目標として明記されている。「がんを診断された時からの緩和ケアの推進」を図ることを目的に、これまでに「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会開催指針」に基づく緩和ケア研修会を受講した医師等を対象に、フォローアップ研修会を開催している。令和4年度は Web で開催した。

令和4年度緩和ケアフォローアップ研修会（WEB 開催）

開催日：令和4年12月4日 於：群馬県医師会 出席者：11名

第13. 勤務医対策・女性医師支援事業

女性医師に対する育児支援等で離職を防ぎ、県内における医師確保を進めることや、家庭と仕事の両立ができるように医師の就労環境を整備していくには、男女共同参画とワークライフバランスの理解や周知が不可欠である。それらを目的に、医学生・研修医等をサポートするための会を開催した。また、勤務医委員会を開催し、医師の働き方改革を中心とした、勤務医に関わる情報の伝達・交換、問題点の議論を行った。

1. 勤務医委員会

開催日：令和4年7月25日 於：群馬県医師会（WEB 開催） 出席者：18名

〈議事〉

- (1) 令和3年度 全国医師会勤務医部会連絡協議会（令和3年10月2日開催）の報告について
- (2) 令和4年度 都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会（令和4年5月27日開催）の報告について
- (3) 医療機関の宿日直許可申請に関する相談窓口の設置について
- (4) 【医療勤務環境改善支援事業】アドバイザー派遣事業の実施について
- (5) 群馬大学医学部附属病院における医師の働き方改革への対応について

2. 医学生・研修医等をサポートするための会

開催日：令和4年12月21日 於：群馬大学昭和キャンパス医学科 臨床大講堂 出席者：119名

〈プログラム〉

パネルディスカッション「Will?・Can! ～予想不可のキャリア形成～」

パネリスト：群馬大学大学院医学系研究科 生化学講座 教授 南嶋洋司 先生

群馬大学大学院医学系研究科 総合医療学 教授 小和瀬桂子 先生

群馬大学大学院医学系研究科 医学教育開発学 教授 岸 美紀子 先生

3. 勤務医・女性医師支援に関する協議会等への出席

(1) 令和4年度都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会

開催日：令和4年5月27日 於：日本医師会（WEB開催）

協議：「コロナ禍での勤務医の働く環境課題の整理と、今後のポストコロナ・ウィズコロナ時代を見据えた勤務医の働き方改革」

「全国における勤務医の意見集約に望まれること ～全国8医師会ブロックにおける議論の活性化への提言～」

(2) 第16回男女共同参画フォーラム

開催日：令和4年4月23日 於：ホテル日航大分オアシスタワー（ハイブリッド開催）

テーマ：「医療人を育む一歩から ～医師の多様な働き方について～」

基調講演

①演題：「日本眼科医会の男女共同参画 ―医会活動に助成が関わる意義―」

講師：日本眼科医会 会長 白根雅子 先生

②演題：「悠遠の男女共同参画 ―苦悩する心臓血管外科医―」

講師：大分大学医学部附属病院心臓血管外科 教授 宮本伸二 先生

シンポジウム

①演題：「わたしのベストポジション ～ドイツからはじまる七転び八起き～」

講師：中津市民病院 心臓血管外科 医長 漆野恵子 先生

②演題：「オール大分女性医師復帰支援への取組と必要性について」

講師：大分大学学長特命補佐（ダイバーシティ担当）・男女共同参画推進室長

医学部医学生物学教授・女性医療人キャリア支援センターセンター長 松浦恵子 先生

③演題：「医師の働きやすい環境づくりに向けて ～大分県における長時間労働対策と女性医師の復帰支援について～」

講師：大分県福祉保健部医療政策課課長 小野 宏 先生

(3) 令和4年度女性医師支援・ドクターバンク連携 関東甲信越・東京ブロック会議

開催日：令和4年5月7日 於：浦安ブライトンホテル東京ベイ

議題：「医師のキャリア支援と医師確保の取り組み ―医師会としてどんな取り組みができるのか、具体的支援の検討―」

① 世代別のキャリア支援の検討（勤務する医師側への支援）

② 医師確保支援の検討（求人医療機関側への支援）

(4) 令和4年度全国医師会勤務医部会連絡協議会

開催日：令和4年10月15日 於：ANA クラウンプラザホテル グランコート名古屋

テーマ：「医療新時代を切り開く勤務医の矜持 ～コロナを克(こ)えて～」

第14. 医師会病院事業

リハビリテーション専門病院として、機能の充実を図るとともに、医師、療法士、看護師等の技術の向上とその育成、さらに患者の立場に立った魅力ある・選ばれる病院を目指し管理運営に取り組んだ。そして、「病院あり方検討委員会」からの病院移転が望ましいとの答申を受け、引き続き移転について「院内病院あり方検討委員会」にて協議を重ねるとともに、「群馬県医師会将来ビジョン検討委員会 群馬リハビリテーション病院分科会」に於いても検討を行った。

また、中之条町から委託された業務「中之条町介護老人保健施設 ゆうあい荘」の管理運営を円滑に進め、医療・介護ともに質の向上と人材育成に力を注いだ。

1. 入院の状況

- (1) 令和4年度の新規入院患者は529名、前年度に比べ6名の増であった。
- (2) 年齢は70歳以上65.4%、60歳代13.8%、50歳代13.0%、その他の年代が7.8%である。
- (3) 病類別は循環器系が全体の37.8%、筋骨格系が23.8%、その他の疾病は38.4%である（詳細は表2の資料のとおり）。

2. 病院運営

毎月の定例会長会議後に病院運営委員会を開催しており、また、県医師会理事会においても毎月2回の協議をもっている。

3. 職員の状況（令和5年3月31日現在：非常勤・パート除く）

(1) 医師	8名	(3) 看護部門	
(2) 診療部門		看護師関係	99名
薬剤師	2名	(4) リハビリ部門	
放射線技師	1名	リハビリ関係	107名
臨床検査技師	4名	(5) 事務部門	
管理栄養士	4名	事務関係	27名
事務関係	9名	(6) 老健部門	
		老健施設関係	54名
合計		315名	

4. 令和4年度看護師、療法士等の採用状況並びに異動状況

新規学卒採用者		異動者（県内他施設へ就職）	
看護師	2名	看護師	0名
准看護師	0名	准看護師	0名
PT	6名	PT	0名
OT	2名	OT	2名
ST	0名	ST	0名
合計	10名	合計	2名

5. 看護及びリハビリ関係研修生受け入れ状況

看護：専門学校1校から10名の研修生を受け入れた。

リハビリ：大学7校、専門学校3校からPT15名、OT22名、ST9名合計46名の研修生を受け入れた。

6. 受託事業の現況

(1) 介護老人保健施設受託業務

「中之条町介護老人保健施設 ゆうあい荘」の施設療養業務は、群馬リハビリテーション病院から出向した54名の人員により運営されている。

令和4年度の新規入所者数は75名で、1日平均の在所者数は72.5名であった。デイケアは1日平均20.38名の利用者があった。

施設規模は、入所定員100名（一般棟50名、認知専門棟50名）、通所定員30名である。

令和4年度〔群馬リハビリテーション病院〕入院患者の状況

表1 地区別入院患者数

郡市別	計	%
前 橋	56	11.0
高 崎	67	13.1
桐 生	9	1.8
伊 勢 崎	11	2.1
太 田	7	1.3
沼 田	19	3.7
館 林	0	0.0
渋 川	30	5.9
藤 岡	3	0.6
富 岡	3	0.6
安 中	9	1.8
み ど り	6	1.2
佐 波	3	0.6
北 群 馬	9	1.8
多 野	0	0.0
甘 楽	3	0.6
吾 妻	257	50.4
利 根	16	3.1
邑 楽	2	0.4
合 計	510	100.0

※県外別入院患者数

都 県 別	計	%
東 京	3	15.8
埼 玉	12	63.1
栃 木	1	5.3
神 奈 川	1	5.3
千 葉	2	10.5
茨 城	0	0.0
そ の 他	0	0.0
合 計	19	100.0

*529人 県内510人 96.4%
県外 19人 3.6%

表2 病類別入院患者数

病類別	計	%
0 神経系、感覚器疾患	20	3.8
1 循環系疾患（2を除く）	0	0.0
2（同上）脳血管疾患	200	37.8
3 呼吸系疾患	0	0.0
4 消化系疾患	0	0.0
5 筋骨格系結合組織疾患 （6を除く）	125	23.6
6（同上）リウマチ性疾患	1	0.2
7 損 傷	174	32.9
8 そ の 他	9	1.7
合 計	529	100.0

〔ICD分類による〕

表3-1 性別・年齢別入院患者数

年 齢 層	男	女	計	%
9 歳 以下	0	2	2	0.4
10歳～19歳	2	0	2	0.4
20歳～29歳	3	1	4	0.8
30歳～39歳	5	0	5	0.9
40歳～49歳	22	6	28	5.3
50歳～59歳	53	16	69	13.0
60歳～69歳	41	32	73	13.8
70歳～79歳	64	62	126	23.8
80 歳 以上	71	149	220	41.6
合 計	261	268	529	100.0

表3-2 性別・年齢別（65歳以上・未満）入院患者数

	男	女	計	%
65歳未満	108	37	145	27.4
65歳以上	153	231	384	72.6
合 計	261	268	529	100.0

Ⅱ 地域保健医療推進の向上を目的とする事業

第1. 感染症・予防接種対策事業

感染症への対応は、情報の迅速な伝達、関係者相互の情報共有が重要である。国及び日本医師会からの最新の感染症情報を速やかに医療機関に伝えることは、感染症の流行を最小限に止めるために重要であり、県医師会ではメーリングリスト等を活用し迅速な情報提供に努めている。

令和元年12月に中華人民共和国湖北省武漢市で発生した新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は瞬く間に世界中に広がり、これまで世界各地で流行の波を繰り返してきた。発生から3年余りが経過し、新規感染者数は減少してはいるが、未だ病院や老人施設でのクラスターも散見されている。

県医師会では、本県における感染拡大による医療崩壊を防ぐべく、群馬県との連携を密にし、県医師会感染症・予防接種対策メーリングリスト等を活用し迅速な情報提供を図るとともに、各地域における医療体制の構築に努めた。

また、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種については、接種業務に従事する関係者の情報共有が重要であることから、度重なる国の方針変更に伴う現場の混乱を避けるべく、新型コロナウイルスワクチン関係の通知等に関しては引き続き「新型コロナウイルスワクチン第〇報」として郡市医師会へ周知を行い、情報共有に努めた。さらに令和3年1月より郡市医師会担当理事を対象としたワクチン説明会をオンラインにより開催し、最新の情報伝達を第一に努めてきたところであるが、令和4年3月以降からは郡市医師会担当役員の負担軽減を考慮し、定期的に動画配信を行う形式に変更、説明会動画配信は現在においても継続して行っている。今後も更なる流行拡大への対応、円滑なワクチン接種体制の構築に努めるべく、日本医師会並びに郡市医師会や群馬県との連携のもと対策を推進していく所存である。

1. 新型コロナウイルス感染症対策

(1) 新型コロナウイルス感染症に係る行政検査の集合契約

新型コロナウイルス感染症に係る行政検査（PCR検査及び抗原検査）の集合契約事務手続きについて、郡市医師会の協力のもと実施医療機関の取りまとめを行い契約を締結、集合契約締結後の実施医療機関の更新についても定期的に実施している。

(2) 郡市医師会を対象とした新型コロナウイルス感染症に関するアンケート調査の実施

ア. 年末年始に向けた医療提供体制の確保に関する対応について（令和4年12月実施）

(3) 宿泊療養施設への医師派遣

新型コロナウイルス感染者の増加に伴う病院の負担の軽減並びに空き病床を確保するため、郡市医師会ご協力のもと宿泊療養施設（前橋ホテル、ドーマーイン前橋、ホテル東横イン高崎、同伊勢崎、同太田、ルートイン伊勢崎インター、同太田南）に入居する軽症者、無症状者の健康管理を行う医師を派遣した。

(4) 郡市医師会担当理事対象新型コロナウイルスワクチンに関する説明会（動画配信）

令和4年4月から令和5年3月までの間で計11回（補足動画配信含む）、郡市医師会担当理事を対象に動画配信による説明会を開催した。新型コロナウイルスワクチン接種について、各配信時期の課題や国の情報に関して群馬県の担当者により説明、質問事項に関しては説明会後に受付け、その後Q&Aとして情報提供を行うことにより関係者相互の情報共有に努めた。動画配信による説明会は現在においても継続して開催している。

(5) 県営ワクチン接種センターへの医師派遣の協力

本会では、群馬県がGメッセ高崎に設置した県営ワクチン接種センターへの医師派遣について、令和3年度より協力してきたところである。令和4年4月においては県民への3回目接種推進のため、令和3年度に引き続き延べ20名の医師を派遣し、令和4年6月25日に県営ワクチン接種センターが終了とな

るまでの間、本県の接種率向上に貢献した。

(6) 新型コロナウイルス感染症、ワクチン接種に関する集合契約の締結

ア. 新型コロナウイルス感染症に係る行政検査（PCR 検査及び抗原検査）の委託契約

イ. 新型コロナウイルス感染症に係る予防接種に関する集合契約

(7) 都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会

令和3年4月より令和4年3月までの間で計6回、日本医師会主催によりテレビ会議システムを用いて開催された担当理事連絡協議会に参加した。新型コロナウイルス感染症や新型コロナウイルスワクチンに関する多くの情報や喫緊の課題等について集約するとともに、医療現場での問題点等について意見することにより、新型コロナウイルス感染症に立ち向かう医療従事者の処遇改善に努めた。連絡協議会については現在においても継続して開催されている。

2. 感染症発生動向調査

会員の協力のもと、感染症発生動向調査における全数把握と定点把握調査について報告を行い、県において取りまとめられた調査結果について、郡市医師会会長会議及び県医師会ホームページを通じて会員に情報提供することにより、感染症の発生動向把握の一翼を担っている。

3. 流行性疾患患者通報業務

群馬県からの受託事業として、全会員の協力のもと麻しん及び風しん疑い患者を診察した場合には、所属郡市医師会を通じ県医師会へ報告をいただいている。会員からの報告については県医師会で取りまとめ、週1回のペースで県に報告するとともに、県医師会ホームページを通じて会員へ情報提供を行っている。この事業により麻しん・風しんの流行を迅速に察知し、早期に対応できるよう体制づくりがなされており、医療現場の臨床に役立つよう努めた。

4. 風しん抗体検査事業

風しんの感染予防やまん延防止のために、予防接種が必要である風しん感受性者を効率的に抽出するとともに、県民の風しん予防に対する意識の向上を図ることを目的として、平成26年度より群馬県並びに前橋市、高崎市において本事業が実施されている。令和4年度においても本会では前記三者と委託契約を締結し、県内相互乗り入れでの事業実施に努めた。

5. 風しんの追加的対策事業

風しんの発生状況等を踏まえ、風しんの感染拡大防止を目的として、現行の対策に加え、平成31年～令和3年度末までの約3年間をかけ、特に抗体保有率が低い昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性を対象に、全国で原則無料にて抗体検査及び予防接種を行う事業が行われてきた。本事業はさらに3年間延長となり、現在も継続されているところである。本会では、日本医師会並びに群馬県からの情報等について郡市医師会との情報共有に努めるとともに、全国の市町村が全国の医療機関・健診機関に対して本事業の実施を委託する集合契約に関する協力医療機関の取りまとめを行い契約を締結、集合契約締結後の実施医療機関の更新についても定期的に実施している。

6. 群馬県内相互乗り入れ予防接種

(1) 群馬県内相互乗り入れ予防接種（定期）

定期予防接種の対象ワクチンについて、住所地市町村外における接種を円滑に実施し、住民の利便性を図ることを目的に平成15年度より県医師会長と県内市町村長の契約のもと本事業を実施している。令和4年度における相互乗り入れ予防接種協力医療機関は1,166件、接種実施数は37,005件であった。

(2) 群馬県内相互乗り入れ行政措置予防接種

「群馬県内相互乗り入れ行政措置予防接種実施要領」を定めることにより、任意予防接種についても被接種者並びに接種医師が安心して予防接種業務を実施できる体制の確保に努めた。

第2．群馬県地域医療介護連携感染予防・対策事業

高齢者施設等における新型コロナウイルス感染症のクラスターについては、死亡者や感染者の規模が大きく、高齢者施設等における感染症予防・対策の徹底が極めて重要である。

本会では、地域において医療と介護との連携により、高齢者施設等における感染症の拡大をあらかじめ防止し、その対策を講ずるため、郡市医師会が中心となって感染症の専門知識を有する者を高齢者施設等に派遣する等の取り組みを支援した。

1．郡市医師会の依頼を受け、高齢者施設等へ感染症対策連絡協議会員等の派遣調整補助

事業全体の派遣人数（延べ）38件中、感染症対策連絡協議会員の派遣11件を調整

2．高齢者施設へ感染症対策連絡協議会員等を派遣

事業全体の派遣人数（延べ）38件中、感染症対策連絡協議会員の派遣3件を実施

第3．精度管理事業

臨床検査精度管理事業は群馬県臨床検査精度管理協議会が実施主体となり事業を実施している（協議会は県医師会、群馬県、群馬県臨床検査技師会、群馬大学で構成）。

令和4年度（第37回）群馬県臨床検査精度管理調査は、283施設の参加を得た。実施項目は一般、血液、臨床化学、免疫血清、微生物、輸血、細胞診、生理機能の8項目であった。

9月下旬に検体を配布し、各施設で検査を実施した。回答を回収した後、データの解析・評価を行い、年度末に報告会を開催した。

また、検査の施設間差是正を目的とした臨床検査値標準化事業を実施しており、令和4年度は8項目（AST、ALT、LD、ALP、CK、 γ -GTP、AMY、ChE）、コリンエステラーゼ、総コレステロール、中性脂肪と特定健診の項目のHDL-コレステロール並びにLDL-コレステロール、を対象項目に標準化事業を群馬大学の協力のもと行った。

1．会議等の開催

(1) 報告会

開催日：令和5年3月9日 於：群馬県公社総合ビル 出席者：65名

※打合会及び協議会は新型コロナウイルス感染予防のため、書面開催

第4．学校保健対策事業

学校医が学校保健活動を円滑に進めるためには、多様化する様々な問題に対応しなければならない。そのために県医師会では関係機関と連携を図り、下記のとおり事業を展開した。

1．学校保健委員会（書面会議）

〈議題〉

(1) 令和4年度群馬県学校医会総会について

(2) 第71回群馬県学校医研究大会（令和5年度）における研究発表について

2．児童・生徒腎臓検診判定小委員会

(1) 第1回

開催日：令和4年8月24日 於：群馬県医師会 出席者：11名

〈議題〉

ア．学校検尿二次検診マニュアルの改訂について

イ．学校検尿に関する提出書類の一部改訂について

(2) 第2回

開催日：令和5年3月14日 於：群馬県医師会 出席者：12名

〈議題〉

- ア. 令和4年度児童生徒腎臓・糖検診の結果について
- イ. 学校検尿マニュアルについて
 - (ア) 学校検尿に係る各種様式の改訂について
 - (イ) 令和5年度における学校検尿の腎臓・糖尿三次検診病院について
 - (ウ) 表紙の色について

3. 「学校検尿マニュアル（令和5年4月改訂版）」の発行

平成27年度に発行した「学校検尿二次検診マニュアル」について、「学校検尿のすべて（令和3年、日本学校保健会発刊）」と「小児の検尿マニュアル（令和4年、日本小児腎臓病学会発刊）」が大きく改訂されたことを受け、児童・生徒腎臓検診判定小委員会において検討し、本県の学校検尿システムを一部変更、併せてマニュアルを改訂することとした。さらに改訂版では三次検診についても触れる方針としたことにより、冊子の名称について「学校検尿マニュアル」と変更し発行した。

4. 「学校医Q & A（改訂版）」の発行

平成25年度に発行した「学校医Q & A」については発行から5年が経過し、学校保健に関する様々な制度変更等が見られていることから、令和元年度に改めて編集会議を組織し検討を重ねてきた。委員の方々のご尽力により今年度「学校医Q & A—健康診断と保健活動のポイント集—（令和4年度改訂版）」として発行し、学校医並びに関係機関へ配布、学校医活動に関する啓蒙に努めた。

5. 群馬県学校医会総会（書面会議）・群馬県学校医研究大会

開催日：令和5年3月18日 於：群馬県医師会（WEB開催） 出席者：39名

研究発表：「コロナ下における生徒の健康状態について」

講師：安中市医師会 学校保健担当理事 水原裕治 先生

特別講演：「小児がん経験者と晩期合併症」

講師：群馬県立小児医療センター院長 外松 学 先生

6. 学校保健に関する新型コロナウイルス感染症対策

日本医師会及び群馬県教育委員会からの通知について「学保新型コロナ第〇報」として、メーリングリストを用いて郡市医師会へ周知を行うことにより情報共有に努めた。また、学校現場での新型コロナウイルス感染症対策が円滑に進められるよう、群馬県教育委員会と連携をとり、学校現場での混乱を避けるべく尽力した。

7. 学校保健に関する大会、協議会等への出席

- (1) 令和4年度関東甲信越静学校医協議会

開催日：令和4年8月4日 於：神奈川県医師会（WEB開催）

- (2) 第53回全国学校保健・学校医大会

開催日：令和4年11月12日 於：岩手県医師会（ハイブリッド開催）

- (3) 令和4年度学校保健講習会

開催日：令和4年4月10日 於：日本医師会（WEB開催）

第5. 児童・生徒心臓検診事業

群馬県教育委員会が定める「児童生徒健康管理対策実施要綱」により、県医師会及び群馬県健康づくり財団が群馬県・市町村・私立学校と受託契約を行い、本事業を実施した。県医師会は判定委員会を組織し、一次検診結果を基に総合判定を行い、委託者に検診結果を報告した。

また、小委員会を開催し健診結果のデータ分析を行うとともに児童生徒心臓検診の課題について検討した。さらにオンラインにて学校心臓検診講習会を開催し、二次検診の重要性についての啓蒙に努めた。

心臓検診の二次検診については、従来、公的病院に限定して実施してきたところであるが、二次検診医療機関の拡充を望む声も多く、該当児童生徒の利便性と医師の負担軽減のため、二次検診実施施設の条件を提示したうえで条件を全て満たし、かつ協力いただける医療機関を診療所も含め募ることとした。令和5年度より新規医療機関も含めた心臓二次検診医療機関として実施される予定である。

1. 児童・生徒心臓検診判定委員会

令和4年5月12日17名、5月19日14名、5月26日16名、6月2日18名、6月9日21名、6月16日20名、6月23日20名、6月30日22名、7月7日22名、9月29日10名、10月20日13名、11月10日9名の計12回、小学1年生、中学1年生、高校1年生及び一部の小学4年生（前橋市、高崎市、桐生市、伊勢崎市、太田市、沼田市、館林市、藤岡市、渋川市、安中市、みどり市、吉岡町、榛東村、上野村、下仁田町、中之条町、長野原町、嬭恋村、高山村、東吾妻町、板倉町、明和町、千代田町、邑楽町、大泉町、特別支援学校）の心臓検診の判定を行った。実施人数は62,252名で、そのうち要三次検診が6名、要二次検診が1,691名、要定期検診が1,184名、健康注意が547名、異常なしが58,824名であった。

2. 児童・生徒心臓検診判定小委員会

(1) 第1回

開催日：令和4年10月6日 於：群馬県医師会 出席者：15名

〈議題〉

ア. 学校心臓二次検診医療機関の拡充について

イ. 学校生活管理指導表（様式11）の改訂について

(2) 第2回

開催日：令和5年3月6日 於：群馬県医師会 出席者：14名

〈議題〉

ア. 令和4年度児童生徒心臓検診の結果について

イ. 最近の突然死等の状況について

ウ. 令和5年度児童・生徒心臓二次検診実施医療機関について

エ. 令和5年度児童・生徒心臓検診判定委員会の開催日程について

オ. 学校生活管理指導表（様式11）の改訂について

カ. 十二誘導心電図導入に関するデータデジタル化の今後の方針について

3. 学校心臓検診講習会

開催日：令和4年7月29日 於：群馬県医師会（WEB開催） 出席者：74名

(1) 演題：「群馬県における先天性心疾患患者の移行期医療の現状」

講師：群馬県立心臓血管センター 循環器内科第3部長

児童・生徒心臓検診判定委員会委員 山下英治 先生

(2) 演題：「学校心臓検診2次検診のポイント」

講師：群馬県立小児医療センター 第3内科部長

児童・生徒心臓検診判定委員会委員長 池田健太郎 先生

第6. へき地学校巡回検診事業

日頃、専門医を受診する機会に恵まれないへき地地域の学童を対象に眼科・耳鼻科の検診を実施し、疾患の早期発見及び疾病の重症化を予防するとともに児童生徒の健康管理を行った。

行政との契約に関する書類作成（検診結果取りまとめ等の実績報告）、出勤に向けての打ち合わせ、出勤医師及び学校との調整、関係機関等への各種通知、検診時の使用器具の準備（消毒作業等）のうえ、下記のとおり事業を実施した。

1. へき地学校巡回検診

- (1) 令和4年9月1日 草津町立草津中学校
- (2) 令和4年9月8日 中之条町立六合小学校・中之条町立六合中学校
- (3) 令和4年9月15日 草津町立草津小学校
- (4) 令和4年9月29日 神流町立万場小学校・神流町立中里中学校
- (5) 令和4年10月19日 片品村立片品小学校・片品村立片品中学校
- (6) 令和4年11月2日 みなかみ町立藤原小学校
- (7) 令和4年11月10日 上野村立上野小学校・上野村立上野中学校
- (8) 令和4年11月16日 高山村立高山小学校・高山村立高山中学校

第7. 母子保健・小児保健対策事業

群馬県・市町村・保健福祉事務所等が実施する保健事業に積極的に協力し、各種健診を通じ地域住民の母子保健・小児保健に対する正しい知識の普及に努めている。

平成31年4月より市町村から委託を受けている新生児聴覚検査事業と産婦健康診査事業は、遅延なく支払業務を実施した。令和4年4月から令和5年3月までの新生児聴覚検査の取扱いは、9,953件、産婦健康診査の取扱いは14,891件であった。

1. 小児保健に関する講演会

県医師会員並びに養護教諭・幼稚園教諭・保育士等を対象に講演会を開催した。

開催日：令和4年11月24日 於：群馬県医師会（WEB開催） 出席者：93名

演題：「小児の医療的ケア」

講師：群馬県立小児医療センター第4内科部長・神経内科部長 渡辺美緒 先生

2. 群馬県内統一母子健康手帳検討事業

令和5年度に発行される県内統一の母子健康手帳について、検討会議委員により内容の検討を行った。

3. 母子保健に関する講演会等への出席

- (1) 令和4年度母子保健講習会

開催日：令和5年2月12日 於：日本医師会

第8. 有床診療所事業

有床診療所を取り巻く諸問題に対して群馬県有床診療所協議会と連携し、迅速かつ適切な対応を行っている。県医師会担当理事が同協議会の役員に就任し、県医師会との関係を密にし諸問題に対応している。令和4年度は医療安全対策研修会を群馬県有床診療所協議会と共催で開催した。

また、全国の有床診療所の情報交換の場である、全国有床診療所連絡協議会総会は、山梨県有床診療所協議会の担当によりハイブリッドで開催され、本県からは本会の小中理事・猿木参与が現地で参加した。

1. 役員会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面開催となった。

〈議事〉

- (1) 令和3年事業報告及び決算（案）
- (2) 令和4年度事業計画（案）及び予算（案）

2. 全国有床診療所連絡協議会関東甲信越ブロック総会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

3. 第35回全国有床診療所連絡協議会総会

開催日：令和4年11月5日～6日 於：ハイランドリゾートホテル&スパ・WEB開催

メインテーマ：「富士の麓で話し合おう！ ～2025年問題をチャンスに変えるために～」

特別講演：

演題：「令和4年度診療報酬改定を踏まえた動向について」

講師：日本医師会 会長 松本吉郎 先生

4. 総会・講演会

※総会：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面開催

〈議事〉

- (1) 令和3年度事業報告並びに決算（案）
- (2) 令和3年度監査報告について
- (3) 令和4年度事業計画（案）並びに予算（案）

〈報告事項〉

講演会（群馬県有床診療所協議会との共催）

開催日：令和5年3月4日 於：群馬ロイヤルホテル・WEB 開催 出席者：137名

演題：「医療機関での暴言・暴力や放火に対する危機管理」

講師：NPO 法人 国際緊急医療・衛生支援機構（IEMS-Japan）

東京都立大学客員教授 箱崎幸也 先生

5. 令和4年度有床診療所の日記念講演

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

第9. 福祉医療事業

福祉医療費補助金制度の仕組みを理解し、医療機関が円滑に請求事務を行うため、「福祉医療費補助金制度取扱要領」を1,620部作成した。郡市医師会を通じ、全会員の医療機関に配付し制度の周知を図った。

第10. 共同利用施設対策事業

地域医療のネットワークの中核として、また地域住民の健康状態を把握し地域の実情に即した形で地域医療の向上を図るため、また、県医師会・郡市医師会が運営・管理を行う共同利用施設（病院、老人保健施設、訪問看護ステーション、健診センター、臨床検査センター、医師会立看護師等養成所等）の運営実態や抱えている課題の把握・改善に努め、地域医療の充実を図る。

1. 関東甲信越医師会連合会医師会共同利用施設分科会

開催日：令和4年8月27日 於：ANA クラウンプラザホテル新潟

シンポジウム：「地域包括ケアシステム推進を見据えた在宅医療推進センターの現状と課題」

特別講演：

演題：「新潟大学における日本酒学（Sakeology）の展開」

講師：新潟大学日本酒学センター センター長 鈴木一史 先生

第11. 在宅医療事業・地域包括ケアシステム事業

在宅医療の普及及び振興に努め、安心して在宅で療養生活ができるよう、医療分野から支援している。

外部の会議では、関東甲信越医師会連合会地域包括ケア部会に参加した。

小児在宅医療については平成30年度に立ち上げた小児在宅医療検討会議において、病院から在宅医療への移行をスムーズに行うための多職種によるチェックシートを作成し、利用の推進を行った。日本医師会主催の都道府県医師会小児在宅ケア担当理事連絡協議会に出席し、情報収集と会員への情報共有を行った。

1. 地域包括ケアシステム委員会

開催日：令和4年7月15日 於：群馬県医師会（WEB開催） 出席者：16名
〈議題〉

- (1) 関東甲信越静地区衛生主幹部（局）長・医師会長合同協議会の資料について
- (2) 関東甲信越医師会連合会介護保険・地域包括ケア部会検討テーマについて
- (3) 関東甲信越医師会連合会救急災害部会検討テーマについて
- (4) 関東甲信越医師会連合会医師会共同利用施設分科会について
- (5) その他

2. 関東甲信越医師会連合会地域包括ケア部会

開催日：令和4年9月11日 於：群馬県医師会（WEB開催） 出席者：43名
〈議題〉

- (1) 地域包括ケアへの取り組み
ア. 地域共生社会における医師会の役割について
イ. かかりつけ医と地域包括ケアシステムについて

3. 令和4年度在宅医療関連講師人材養成事業

開催日：令和5年1月29日 於：厚生労働省（WEB開催） 出席者：1名（群馬県医師会からの推薦者）
〈議題〉

- (1) 第8次医療計画における在宅医療の体制構築の方向性
- (2) 都道府県における在宅医療・介護連携に関する取組事例
- (3) 医療的ケア児を含む小児在宅医療に関する生活・療養支援
- (4) 各都道府県の第7次医療計画説明と取り組みの振り返り
- (5) 在宅医療の地域課題と対策
- (6) グループワーク成果発表

4. 高齢者ケア専門研修 介護者のための医学的基礎知識講座への講師派遣

(1) 第1回

開催日：令和4年7月14日 於：明風園 出席者：41名
演題：「高齢期の特徴と疾患の理解＋新型コロナウイルス感染症（COVID-19）」
講師：群馬県医師会理事 長坂資夫 先生

(2) 第2回

開催日：令和5年1月26日 於：明風園 出席者：16名
演題：「高齢期の特徴と疾患の理解＋新型コロナウイルス感染症（COVID-19）」
講師：群馬県医師会理事 長坂資夫 先生

5. 第18回在宅医療推進フォーラム

開催日：令和4年11月23日 於：東京ビッグサイト（WEB参加）
テーマ：「やっぱり最高！わが家・わが町 ～在宅医療の未来を語ろう～」

第12. 妊婦健康審査事業

平成9年4月より市町村から委託を受けている妊婦健診事業は、遅延なく支払業務を実施した。令和4年4月から令和5年3月までの取扱いは、125,179件（そのうち12件は多胎妊娠の妊婦健診）であった。

第13. 脳卒中对策事業

脳卒中の地域医療連携のため、郡市医師会の協力を得て県内の計画管理病院と連携する医療機関の体制整

備や、地域連携診療計画の情報交換を行うための「脳卒中医療連携の会」本会議の開催に対し協力を行った。

1. 群馬脳卒中医療連携の会本会議

- (1) 第38回群馬脳卒中医療連携の会 本会議
開催日：令和4年4月26日 於：WEB開催 出席者：218名
- (2) 第39回群馬脳卒中医療連携の会 本会議
開催日：令和4年7月26日 於：WEB開催 出席者：258名
- (3) 第40回群馬脳卒中医療連携の会 本会議
開催日：令和5年1月31日 於：WEB開催 出席者：225名

第14. 広報活動事業

1. 広報・会報編集委員会

開催日：令和4年6月2日 於：群馬県医師会（WEB開催） 出席者：15名

〈議題〉

- (1) 令和3年度の報告について
 - ア. 神奈川県医師会からの広報活動アンケートについて
- (2) 令和4年度の広報活動について
 - ア. 上毛新聞「突き出し広告」について
 - イ. 上毛新聞「元気+らいふ」コーナー（困っていませんか）について

2. 上毛新聞

- (1) 突き出し広告
毎月第2、第4火曜日に、県民の公衆衛生の向上を図る医療情報を掲載した（年24回）。
- (2) 元気+らいふ「困っていませんか」
奇数月号に、病気に関する解説を掲載した（年6回）。

第15. 地域医療資料館運営事業

地域医療資料館は、日本医史学会監事蔵方宏昌先生のご指導及び協力を得て運営しており、医療関連資料の展示並びに企画展示を開催している。令和4年度は、ヒポクラテスをテーマに企画展示をする予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期となっている。

また、郡市医師会及び各医療機関の協力をいただき、収集整理した医学書・医療器械を同時に展示している。

第16. 臓器移植

臓器移植は、臓器の機能が低下し移植でしか治療ができない人と、死後に臓器を提供してもよいという人を結ぶ医療である。国内で臓器提供を待っている人は約14,000人で、そのうち移植を受けられる人は年間約300人程度と、諸外国と比べ極端に少ない。こうした現状に鑑み、臓器提供意思表示カードの普及を始め、臓器移植に関する周知並びに啓発活動を行うことで、県民のニーズに応えた医療の提供を目指す。

県民が健全な日常生活を営むためにも、臓器不全予防の重要性を啓発するとともに、県内各地域において、関係機関の協力により臓器移植体制の整備・強化を図った。

第17. 院内感染地域支援ネットワーク相談事業

医療機関が院内感染予防及び院内感染発生時の対応について相談できる体制を整備するため、院内感染に関する専門家からなるネットワークを構築し、県内において地域における院内感染対策支援を行った。

1. 感染症対策の会議及び講演会

(1) 令和4年度群馬県感染症対策連絡協議会総会・特別講演会

開催日：令和4年7月1日 於：テレビ会議システム利用 出席者：645名

〈プログラム〉

ア. 総会

- (ア) 令和3年度事業報告について
- (イ) 令和4年度事業計画について
- (ウ) 規約の変更について

イ. 一般演題

- (ア) 演題：「C-MATの活動報告について」
演者：渋川医療センター 感染対策室 篠原友理 先生
- (イ) 演題：「群馬県病院薬剤師会 感染制御等に係る取り組み」
演者：桐生厚生総合病院 薬剤部 河井利恵子 先生
- (ウ) 演題：「臨床検査技師におけるコロナワクチン接種のかかわりについて」
演者：東邦病院 検査科 井澤伸介 先生

ウ. 特別講演

演題：「ウィズコロナにおける感染対策 ～この2年間を振り返って～」
講師：奈良県立医科大学 感染症センター 教授 笠原 敬 先生

(2) 令和4年度群馬県感染症対策連絡協議会サル等についての講演会

開催日：令和4年9月1日 於：テレビ会議システム利用 出席者：173名

演題：「感染症専門医・指導医が解説！ サル痘への備え ―正しい知識を身につけ、正しく恐れる―」
講師：国立研究開発法人 国立国際医療研究センター 国際感染症センター 石金正裕 先生

(3) 令和4年度群馬県感染症対策連絡協議会合同カンファレンス

開催日：令和5年1月5日 於：テレビ会議システム利用 出席者：418名

〈一般演題〉

- (ア) 演題：「藤岡地域における連携強化加算シート活用報告」
演者：くすの木病院 感染管理室 荒井よし江 先生
- (イ) 演題：「J-SIPHEを利用した抗菌薬サーベイランス」
演者：伊勢崎市民病院 薬剤部 塩ノ谷明彦 先生
- (ウ) 演題：「血液培養について」
演者：高崎総合医療センター 臨床検査科 日野 歩 先生

〈特別講演〉

演題：「梅毒の診断 ～特に、梅毒抗体検査について～」
講師：札幌医科大学医学部感染制御・臨床検査医学講座 教授 高橋 聡 先生

(4) 令和4年度群馬県感染症対策連絡協議会合同訓練

開催日：令和5年3月1日 於：テレビ会議システム利用 出席者：321名

〈特別講演〉

演題：「感染対策の基礎と実際」
演者：群馬大学医学部附属病院 感染制御部 部長 徳江 豊 先生

〈感染対策訓練〉

蛍光塗料とブラックライトを用いた、個人防護具（PPE）着脱訓練
N95マスクの正しい付け方及びフィットテスト

- (5) 令和4年度群馬県感染症対策連絡協議会新型コロナウイルス後遺症に関する講演会
開催日：令和5年3月18日 於：テレビ会議システム利用 出席者：173名
演題：「COVID-19の現状と後遺症（罹患後症状）について」
講師：川崎市健康安全研究所 所長 岡部信彦 先生
- (6) 安中地区感染対策研修会
開催日：令和4年8月19日 於：安中市医師会館 出席者：89名
講師：高崎総合医療センター感染対策医療チーム
- (7) 令和4年度新型コロナウイルス感染症対策研修会
開催日：令和5年3月2日 於：高崎市市民活動センター・ソシアス 出席者：22名
令和5年3月15日 於：高崎市総合保健センター 出席者：24名
演題：「施設における新型コロナウイルス感染症対策」
講師：高崎総合医療センター 感染管理認定看護師 中沢まゆみ 先生
- (8) 群馬県感染症対策連絡協議会 ICN 分科会
- ア. 第1回
開催日：令和4年5月17日 於：群馬メディカルセンター 大ホール 出席者：35名
〈議事〉
- (ア) 感染対策向上加算について
 - (イ) 相互チェックの改善報告書について
 - (ウ) CMAT について
 - (エ) 次回学会テーマ
 - (オ) 手指衛生サーベイランスデータ収集について
 - (カ) 群馬県感染症対策連絡協議会総会について
 - (キ) その他
- イ. 第2回
開催日：令和4年8月9日 於：テレビ会議システム利用 出席者：30名
〈議事〉
- (ア) COVID-19対策について
 - (イ) ワーキンググループ活動の進捗について
 - (ウ) その他
- ウ. 第3回
開催日：令和4年10月11日 於：テレビ会議システム利用 出席者：36名
〈議事〉
- (ア) WG の進捗状況について
 - (イ) 訓練を実施した施設からの報告
 - (ウ) 予防接種について
 - (エ) 各施設からの報告と質問
 - (オ) その他
- エ. 第4回
開催日：令和4年12月16日 於：テレビ会議システム利用 出席者：22名
〈議事〉
- (ア) 新 ICN に関する情報共有
 - (イ) 新世話人の選出について

(ウ) 各施設からの状況報告・疑問等

(エ) その他

オ. 第5回

開催日：令和5年3月8日 於：テレビ会議システム利用 出席者：37名

〈議事〉

(ア) WGの進捗の確認について

(イ) 5類感染症に移行するにあたっての準備の進捗の情報交換

(ウ) 次年度の総会について

(エ) 高齢者施設等の感染対策について

(オ) 学会の予定の報告について

(カ) その他

2. 院内感染対策相談支援

県内医療機関等からの相談または、支援依頼に対して助言等を行った。

3. 医療機関ラウンド調査

- (1) 開催日：令和4年5月9日 於：真木病院
- (2) 開催日：令和4年5月26日 於：真木病院
- (3) 開催日：令和4年6月24日 於：関越中央病院
- (4) 開催日：令和4年6月27日 於：野口病院
- (5) 開催日：令和4年7月6日 於：恵愛堂病院
- (6) 開催日：令和4年7月28日 於：長生病院
- (7) 開催日：令和4年7月29日 於：田島病院
- (8) 開催日：令和4年7月29日 於：内田病院
- (9) 開催日：令和4年8月17日 於：吾妻さくら病院
- (10) 開催日：令和4年11月7日 於：内田病院
- (11) 開催日：令和4年11月30日 於：横田マタニティーホスピタル

Ⅲ 公衆衛生疾病治療推進事業

第1. 糖尿病・腎臓病対策事業

糖尿病は、心筋梗塞や脳卒中など動脈硬化性疾患の最大の危険因子であり、成人の4人に1人が糖尿病という高い罹患率をもつ。近年は発症年齢の若年化も大きな問題であり、その対策は急務である。増加し続ける糖尿病と腎臓病の発症・重症化予防、及び合併症の発症・重症化予防を目的とし、県内各地域において早期発見・早期治療、医療連携の推進に尽力している。また、県民の健康増進のために群馬県と群馬県糖尿病性腎症重症化予防プログラムを策定した。

1. 世界糖尿病デーにおける啓蒙活動

- (1) 上毛新聞への突き出し広告掲載 令和4年11月14日
- (2) 草津湯畑・高崎総合保健センター・白衣観音・臨江閣におけるブルーライトアップ

第2. 禁煙対策事業

喫煙とそれに伴う受動喫煙による健康被害は、肺がんを始めとして口腔・咽頭がん、食道がん、膀胱がんなどの多くのがん・心血管系疾患・呼吸器系疾患及び歯周疾患など全身の健康に影響を及ぼすことが明らか

になっている。

群馬県歯科医師会及び群馬県薬剤師会と協働し「群馬県禁煙支援医師・歯科医師・薬剤師ネットワーク」を構築。受動喫煙の防止及び禁煙対策を一層推進するため、群馬県に協力した。

1. 群馬県禁煙支援県民公開講座

※新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため、受動喫煙の防止及び禁煙に係る啓発ポスターコンクール実施した。

2. 全国禁煙アドバイザー育成講習会

開催日：令和4年11月6日 於：高崎健康福祉大学 出席者：60名

第3. COPD 対策事業

慢性閉塞性肺疾患（COPD）について、現在、全国で21万人が治療を受けており、推定患者数は530万人とされている。COPDの主な原因は喫煙であることが多く、予防可能な疾患であるにもかかわらず、多くの人々に認知されていない現状がある。予防から早期発見、適切な医療提供、普及啓発を行うため、群馬県と協力した。

第4. 循環器病対策病診連携推進事業

心不全を含めた循環器病は、急性期には発症後に早急かつ適切な治療を開始する必要があるとともに、回復期・慢性期においても再発・増悪しやすいという特徴がある。これまで、急性期の治療を終えた患者を地域に戻していくという、病院から診療所への患者の流れが中心であったが、今後は、地域において心不全を含めた循環器病を予防し、再発・増悪した際に急性期の病院に円滑につないでいくという診療所から病院への患者の流れがより重要になってくる。

令和4年度は、診療連携推進のために、心不全健康管理手帳を増刷し医療機関へ配布した。

IV 医療水準向上事業

第1. 医療施設経営改善支援事業

平成6年度より医療経営の安定化を支援し国民医療の確保に資することを目的として、医療施設経営改善支援事業を展開し、群馬県では県医師会がその事業を委託され研修会を中心に事業を行った。平成10年度厚生労働省としての事業を終了、群馬県の事業が14年度で終了となったが、事業継続の要望が多く県医師会の事業として毎年開催している。令和4年度は、医療施設経営改善支援研修講演会の開催を、群馬県病院協会との共催で2回予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

第2. 群馬県感染症対策連絡協議会事業

医療現場での院内感染対策については、各病院・診療所でも感染対策マニュアルの作成と感染対策委員会の設置等を行い対応しているが、専門家が不足していることもあり、十分とは云えない状況であることから、県医師会では平成22年に群馬県 ICD 連絡協議会を設立した。県内の院内感染対策の専門家に世話人として参画していただき、院内感染を担う人材の育成のための講演会の企画、感染症対策の相談への対応など、院内感染対策の充実を図っている。

院内感染対策は医療関係者の連携が不可欠なことから、平成24年度より、医師・看護師・薬剤師・検査技師にも参加を呼びかけ、名称も新たに「群馬県感染症対策連絡協議会」と変更した。平成30年度より医療関連団体に構成団体として賛同いただき、役員会を組織した。

また、群馬県感染症対策連絡協議会として、別記のとおり群馬県院内感染地域支援ネットワーク相談事業を行った。

第3．調査・研究事業

群馬県、日本医師会、関係団体から依頼のあった諸調査やアンケートについて郡市医師会並びに会員の協力を得て回答した。

また、県医師会が必要とする調査についても郡市医師会や会員に協力を得て回答いただいている。調査結果については、事業の策定に極めて重要な資料として活用されている。

令和4年度に実施した主な調査、アンケートは次のとおりである。

1. 医療現場における患者等からの暴力・暴言に対するアンケート調査
2. 群馬県学校心臓検診における二次検診実施医療機関への意向調査
3. 医療保険に関するアンケート

V 母体保護対策事業

第1．母体保護法関連事業

母体保護法の規定に基づいて、審査委員会を設営し、人工妊娠中絶を行うことのできる医師の指定や審査を行い、それに伴う研修会を開催し、スキルアップに努めた。また、指定医師の責務である適正な母性の生命健康の保護について周知した。

1. 母体保護法指定医師審査委員会

開催日：令和4年10月27日 於：群馬県医師会

〈議題〉

(1) 更新申請者審査

更新対象者40名・更新申請者39名・更新辞退者1名・新規申請者1名・施設異動申請者1名

2. 母体保護法指定医師研修会

(1) 第1回

開催日：令和4年5月28日 於：群馬県医師会 出席者：78名

ア. 演題：「母体保護法の趣旨と適正な運用に関するもの」

講師：群馬県産婦人科医会長 永山雅之 先生

イ. 演題：「生命倫理に関するもの」

講師：群馬県産婦人科医会副会長 道下正彦 先生

ウ. 演題：「医療安全・救急処置に関するもの」

講師：群馬県医師会理事 佐藤雄一 先生

(2) 第2回

開催日：令和4年9月10日 於：群馬県医師会 出席者：35名

ア. 演題：「母体保護法の趣旨と適正な運用に関するもの」

講師：群馬県産婦人科医会長 永山雅之 先生

イ. 演題：「生命倫理に関するもの」

講師：群馬県産婦人科医会副会長 道下正彦 先生

ウ. 演題：「医療安全・救急処置に関するもの」

講師：群馬県医師会理事 佐藤雄一 先生

3. 母体保護法指定医師審査委員

群馬県医師会母体保護法指定医師指定規則の第17条第1項の定めにより、代議員会に次のとおり委員の報告をした（委員数：7名）。

群馬県医師会副会長	西松輝高、川島 崇
群馬県医師会理事	今泉友一、有坂 拓、佐藤雄一
群馬県産婦人科医会長	永山雅之
群馬県産婦人科医会副会長	道下正彦

（任期：令和4年6月23日から2年後の6月開催予定の群馬県医師会定時代議員会終結時）

Ⅵ 医療情報システム対策事業

第1. IT・医療情報システム事業

平成11年より独自サーバによる運用を開始したインターネット事業は数多くの会員が利用しており、メーリングリストやホームページによる情報発信を行っている。

群馬県内の医療機関におけるサイバー空間の脅威に対処する取り組みを推進するため、令和4年10月20日に群馬県警察、群馬県と群馬県医療機関等サイバーセキュリティ共同対処協定を締結し、サイバー事案による被害の防止を図るための取り組みを開始した。

1. IT 推進会議

- (1) 第1回 開催日：令和4年4月12日 於：群馬県医師会
- (2) 第2回 開催日：令和4年5月10日 於：群馬県医師会
- (3) 第3回 開催日：令和4年6月13日 於：群馬県医師会
- (4) 第4回 開催日：令和4年7月12日 於：群馬県医師会
- (5) 第5回 開催日：令和4年8月8日 於：群馬県医師会
- (6) 第6回 開催日：令和4年9月5日 於：群馬県医師会
- (7) 第7回 開催日：令和4年10月3日 於：群馬県医師会
- (8) 第8回 開催日：令和4年11月15日 於：群馬県医師会
- (9) 第9回 開催日：令和4年12月13日 於：群馬県医師会
- (10) 第10回 開催日：令和5年1月11日 於：群馬県医師会
- (11) 第11回 開催日：令和5年2月7日 於：群馬県医師会
- (12) 第12回 開催日：令和5年3月14日 於：群馬県医師会

〈主な議題〉

- ア. サイバーセキュリティ対策に関する件
- イ. 会長会議資料のペーパーレス化に関する件
- ウ. 日本医師会医療情報システム協議会に関する件
- エ. オンライン資格確認の原則義務化に関する件
- オ. 群馬県における遠隔医療に関する件

2. 令和4年度日本医師会医療情報システム協議会

開催日：令和5年2月25日・26日 於：日本医師会（WEB開催） 出席者：509名

メインテーマ：「医療 DX2023 DX 推進の現状と将来の展望

—DX 推進のためにできること、すべきこと—」

セッション内容：

- I. 医療 DX に対する日本医師会の考え
- II. 国がめざす医療 DX
- III. 医療情報の標準化がめざす未来
- IV. 地域医療情報連携ネットワーク
- V. サイバーセキュリティ

3. 日医標準レセプトソフト

日本医師会が推奨する日医標準レセプトソフトは、群馬県内では362医療機関で導入されている。

VII 医療安全対策事業

第1. 医事紛争対策事業

県医師会員の医事紛争に対し相互扶助として昭和34年に発足した医療事故処理会は、現在医療事故対策委員会として引き継がれ、現況報告・事故防止対策等について協議を行っている。また、平成11年より事案の対応機関として医事紛争調査会を通常月1回開催し、関係医療機関から報告を受けるとともに、必要があれば弁護士に依頼し、医療機関及び患者等のために紛争等の早期対応・解決に努めてきた。

平成16年には「医療事故防止の活動指針」を策定し、医療事故発生の原因究明、再発防止を図るとともに、医療事故が多発する施設に対し指導を行った。

制度発足以来、令和5年3月までに受理した医事紛争件数は945件でそのうち901件を処理解決した。また、日本医師会に付託した件数は151件で、144件を処理解決した。

1. 医療事故対策委員会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面開催

2. 医療安全対策研修会

開催日：令和5年3月4日 於：群馬ロイヤルホテル・WEB 開催 出席者：137名

演題：「医療機関での暴言・暴力や放火に対する危機管理」

講師：NPO 法人 国際緊急医療・衛生支援機構（IEMS-Japan）

東京都立大学客員教授 箱崎幸也 先生

3. 医療事故・医事紛争事例報告会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

第2. 医療事故調査制度対策事業

平成27年10月より施行された医療事故調査制度に関わる事業として、県医師会は医療事故調査等支援団体に指定され県内の医療機関からの相談等を受け付けている。令和4年度の相談件数は、院内調査委員会への外部委員派遣依頼について2件あり、本会担当理事及び専門家を委員に推薦した。また、講演会は群馬県と群馬大学・高崎健康福祉大学との共催により、世界患者安全の日である9月17日に開催し、医療関係者への制度の理解と普及に努めた。さらに県内の支援団体のまとめ役を担っていることから、群馬県医療事故調査等支援団体連絡協議会を開催し、21支援団体と相互の連携を確認する予定であったが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

1. 医療安全対策講演会

開催日：令和4年9月17日 於：ホテルラシーネ新前橋 出席者：71名

演題：「医療安全施策の動向」

講師：厚生労働省医政局地域医療計画課医療安全推進・医務指導室長 梅木和宣 先生

2. 群馬県医療事故調査等支援団体連絡協議会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

第3. 医療・苦情相談事業

日本医師会は平成12年より「診療情報に関する指針」を施行し、平成19年には「診療に関する個人情報の取り扱い指針」、「診療に関する相談事業運営方針」を施行した。

県医師会でも日本医師会が示した指針に基づき、平成12年2月1日に「診療情報に関する相談窓口」を設置し、診療情報の提供や医療全般にかかわる様々な相談・苦情を受け付け、相談内容により担当理事が対応し、必要に応じて医療機関に連絡を取りながら相談者への迅速かつ丁寧な対応を心掛け処理にあたっている。県医師会における令和4年度の相談件数は5件で、現在まで383件（平成12年2月1日～令和5年3月31日）に対応している。

Ⅷ 地域医療介護総合確保基金

第1. 女性医師等就労環境整備・保育支援事業

1. 子育て医師に対する支援事業

子育て医師の出産・育児を理由とした離職防止を図り、県内の医師確保に寄与することを目的として、医療介護総合確保基金を活用し運営している「保育サポーターバンク」は、令和4年度においても引き続き対象となる医師及びサポーターの募集を行い、サポーター向けの研修会を開催した。子育て医師保育支援相談員は、医師が希望する支援内容に基づき、保育サポーター研修会を受講したサポーターの中から支援者をコーディネートした。利用医師に対しては、基金より利用料金の一部等を助成した。また、郡市医師会や行政、大学等から有識者を集め女性医師支援委員会並びに保育サポーターバンク運営委員会を開催し、事業の運営や拡充等についての協議を行い、女性医師等の勤務環境支援に取り組んだ。

令和5年3月現在、登録医師数253名、登録サポーター数253名、令和4年度の総利用時間は18,412.5時間であった。

2. 第9回女性医師支援委員会、第16回保育サポーターバンク運営委員会（同時開催）

開催日：令和4年8月8日 於：群馬県医師会 出席者：13名

〈議事〉

- (1) 女性医師支援サポートブックの作成について
- (2) 保育サポーターバンク通信 VOL.7～10周年記念特集号～の発行について
- (3) 保育サポーターバンクの利用状況について

3. 第10回女性医師支援委員会、第17回保育サポーターバンク運営委員会（同時開催）

開催日：令和4年12月7日 於：群馬県医師会 出席者：10名

〈議事〉

- (1) 子育て医師のためのサポートブック（仮称）の作成について
- (2) 女性医師支援委員会と保育サポーターバンク運営委員会の統合について
- (3) 保育サポーターバンクの利用状況について
- (4) 保育サポーター研修会について
- (5) 医学生、研修医等をサポートするための会について

4. 第21回保育サポーターバンク研修会

開催日：令和4年11月6日 於：群馬県医師会 出席者：9名

(1) 演題：「子どもの病気とホームケア」

講師：いまいずみ小児科院長 今泉友一 先生

第2. 多職種連携推進拠点事業

群馬県は高齢化が進んでおり、団塊の世代が全て75歳以上となる2025年以降は、国民の医療や介護の需用がさらに増強することが見込まれることから、地域に添った包括的な支援・サービス提供体制の構築（地域包括ケアシステム）が早急の課題となる。

地域包括ケアシステムの推進に向け、多職種が一堂に会して共通認識を持ち、県民への普及啓発を図る方策について検討する場「オール群馬 群馬県多職種連携推進協議会」で、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができる社会の実現に尽力する行政や医療・介護の専門職を紹介し、その役割や特性を踏まえて平成30年4月に全ての市町村で新たに始まった在宅医療・介護連携推進事業等の地域支援事業に資する情報をそれぞれの視点から提示することで、患者ご本人やそのご家族が医療・介護を受ける場合は勿論、健康寿命を延伸させる一助となるような有意義な場を創生した。昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の流行下において、各団体と情報共有の場としても活躍した。

新型コロナウイルス感染症の5類移行後における地域医療でのオンライン診療の活用の在り方の紹介など地域包括ケアシステム構築に有用と考えられる動画を作成し、それを多職種連携推進協議会のホームページ上で公開した。各地域で動画が活用されることで多職種による地域包括ケアシステムの構築が進むことが期待できる。

第3. 医師（研修医・看護師を含む）を対象とした在宅医療同行研修事業

主に在宅医療の経験のない、或いは経験の少ない医師を対象として、在宅医療同行研修を実施している。

併せて、群馬県在宅療養支援診療所連絡会との共催による研修会を開催しているが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

第4. かかりつけ医機能研修事業

日本医師会は、かかりつけ医を「なんでも相談できる上、最新の医療情報を熟知して、必要な時には専門医、専門医療機関を紹介でき、身近で頼りになる地域医療、保健、福祉を担う総合的な能力を有する医師」と位置づけ、「かかりつけ医機能」のあるべき姿を評価し、その能力を維持・向上するために「かかりつけ医機能研修制度」を創設した。本事業では、かかりつけ医の養成のために日本医師会がWeb配信した日に群馬県医師会にサテライト会場を設置し開催した。

1. 群馬県医師会 日医かかりつけ医機能研修制度 令和4年度応用研修会

開催日：令和4年8月7日 於：群馬県医師会 出席者：14名

演題：「かかりつけ医の感染対策」

講師：沖縄県立中部病院 感染症内科・地域ケア科 副部長 高山義弘 先生 他1名

演題：「フレイル予防・対策」

講師：地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター 理事長 鳥羽研二 先生 他1名

演題：「地域リハビリテーション」

講師：医療法人共和会小倉リハビリテーション病院名誉院長 浜村明德 先生

演題：「かかりつけ医と精神科専門医との連携」

講師：医療法人社団東京愛成会高月病院院長 長瀬幸弘 先生 他1名

演題：「オンライン診療のあり方」

講師：医療法人社団聡伸会今村医院理事長・院長 今村 聡 先生

演題：「新型コロナウイルス感染症とかかりつけ医 ～事例検討を通して～」

講師：医療法人社団家族の森多摩ファミリークリニック 院長 大橋博樹 先生 他1名

IX 収益事業

第1. 集金事務代行事業

生命保険会社7社、損害保険会社4社と団体扱い契約を締結し、事務手数料を受領した。

また会員福利厚生事業の一環としてグループ保険制度を実施し、事務手数料を受領した。

○生命保険会社

アクサ生命、朝日生命、住友生命、第一生命、日本生命、大樹生命、明治安田生命

○損害保険会社

あいおいニッセイ同和損保、損保ジャパン、東京海上日動火災保険

三井住友海上火災保険

第2. 事務受託事業

群馬県病院協会をはじめ、医会・同窓会・協議会（16団体）の事務を受託し、円滑な事務執行と各会運営活動の支援を行った。

第3. 賃貸事業

1. 群馬メディカルセンターの管理運営について

令和4年4月1日現在の入居団体は県医師会・群馬県医師信用組合・群馬県医師国民健康保険組合・群馬産業保健総合支援センター・群馬県栄養士会・群馬県臨床検査技師会・群馬メディカル保険サービス・群馬県診療放射線技師会・群馬県医師連盟の9団体である。

(1) 群馬メディカルセンターの維持及び整備について

ア. 建築関係は、受水槽・高架水槽清掃を実施した。

イ. 設備関係は、本館2階群馬産業保健総合支援センターの空調機設置交換、本館4階給湯室水栓交換、本館2階トイレ手洗い器排水詰り修繕、入退室管理システム電池交換、本館2階と4階非常口誘導灯交換、本館4階県医師会事務室ドア修繕、本館3階階段灯と3階と4階と5階の蛍光灯安定器取替工事を実施した。

X 共益事業

第1. 会報・会員名簿事業

1. 群馬県医師会報

県医師会の会務報告や学術研究の発表、医療保険情報等各種情報の提供、会員の提言などを掲載し月刊で年間12回、33,000部発行した。また、令和4年8月号附録に臨時代議員会の議案書、議事録、臨時・定時代議員会の議案書、議事録を掲載し、2,590部発行した。令和4年9月号に「The Opinion ～私が考える医師会の課題と展望～」をテーマとして特集号を発行した。

2. 広報・会報編集委員会

(1) 第1回

開催日：令和4年6月2日 於：群馬県医師会（WEB開催） 出席者：15名
〈議題〉

- (1) 令和3年度の報告について
ア. 令和3年度経費について
- (2) 令和4年度の編集について
ア. 特集号について
イ. 印刷費の価格見直しについて
ウ. 掲載内容と追加コーナーの検討について
エ. 別刷りの費用について

3. 会員名簿

平成28年度より偶数年度に発行している会員名簿は、令和4年版を個人情報保護法の法令を遵守しつつ発行した。

第2. 文化厚生事業

各種の文化厚生事業を、会員相互の親睦を図ることを目的として、郡市医師会の支援・協力により、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を考慮しながら、感染対策を行ったうえで実施した。

また、厚生事業委員会を開催し実施計画や今後の事業継続について協議した。

1. 厚生事業委員会

開催日：令和4年5月12日 於：群馬県医師会 出席者：12名
〈議題〉

- (1) 令和3年度厚生事業報告
- (2) 令和4年度厚生事業について
- (3) 予算について
- (4) 令和5年度厚生事業について

2. 俳句大会

開催日：令和4年5月15日 於：ホテルメトロポリタン高崎 担当：高崎市医師会

7郡市医師会より25名の投句があり、当日は選者・講師として木暮陶句郎先生を招き、17名の参加があった。

3. 野球大会

開催日：令和4年6月11日 於：上毛新聞敷島球場 担当：群馬県医師会
※雨天のため中止。

4. ボウリング大会

開催日：令和4年7月31日 於：パークレーン高崎 担当：高崎市医師会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。7郡市医師会より54名の参加を予定していた。

5. ゴルフ大会

開催日：令和4年10月10日 於：鳳凰ゴルフ倶楽部 担当：太田市医師会

14郡市医師会より98名の参加者があり、優勝は富岡市甘楽郡医師会チームであった。

6. テニス大会

開催日：令和4年11月6日 於：清水善造メモリアルテニスコート

担当：藤岡多野医師会、桐生市医師会、太田市医師会、富岡市甘楽郡医師会

5郡市医師会より38名の参加者があり、優勝は前橋市医師会チームであった。

7. 音楽祭

開催日：令和4年10月30日 於：群馬県医師会 担当：前橋市医師会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

8. 北関東三県医師会ゴルフ大会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

9. 麻雀大会

開催日：令和4年12月4日 於：雀荘ほたか 担当：群馬県医師会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

10. 囲碁大会

開催日：令和5年1月29日 於：群馬県医師会 担当：群馬県医師会

6郡市医師会他団体より18名の参加者があった。

11. スキー・スノーボード大会

開催日：令和5年2月26日 於：川場スキー場 担当：沼田利根医師会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

第3. 証明書発行事業

県医師会会員証を希望する会員に発行した。令和4年度の発行枚数は3枚であった。

なお、県医師会会員証は令和5年3月末で廃止し、今後は日本医師会が発行する医師資格証を取得していた
だくことになった。

XI 法人会計事業

第1. 代議員会

1. 第152回臨時代議員会

令和4年5月26日、代議員73名中71名の出席を得て県医師会大ホールにおいて開催した。次の事項について上程し、県医師会役員が選任され、日本医師会代議員と予備代議員が選出された。

〈議事〉

第1号議案 群馬県医師会役員（会長、副会長、理事）選任の件

第2号議案 群馬県医師会役員（監事）選任の件

第3号議案 日本医師会代議員選出の件

第4号議案 日本医師会予備代議員選出の件

〈群馬県医師会役員〉

会長候補 須藤英仁（再）

副会長候補 西松輝高（再）、川島 崇（再）

理 事 今泉友一（再）、有坂 拓（再）、長坂資夫（再）、吉川守也（再）、清宮和之（再）、
渡邊秀臣（再）、服部徳昭（再）、佐藤雄一（再）、鶴谷英樹（再）、小中俊太郎（新）

監 事 中屋光雄（再）、大澤英夫（再）

（任期：令和4年6月23日から令和6年6月開催予定の群馬県医師会定時代議員会終結時まで）

〈日本医師会代議員・同予備代議員〉

代議員 須藤英仁（再）、西松輝高（再）、川島 崇（再）、今泉友一（再）、藤塚 勲（新）

予備代議員 有坂 拓（再）、長坂資夫（再）、須田浩充（再）、岡本克実（再）、1名欠員

(任期：令和4年6月23日から令和6年6月開催予定の日本医師会定例代議員会の前日まで)

2. 第153回定時代議員会

令和4年6月23日、代議員72名中69名の出席を得て県医師会大ホールにおいて開催した。

代議員会議長、副議長の選定が行われ、議長に藤塚 勲氏、副議長に山崎恒彦氏が選定された（任期：令和4年6月23日から令和6年6月開催予定の群馬県医師会定時代議員会前日まで）。令和3年度会務報告の後、「群馬県医師会会計決算の件」を上程し、監査報告を受けた後可決された。また、「群馬県医師会役員（会長、副会長）選定の件」が上程され、会長に須藤英仁氏、副会長に西松輝高氏と川島 崇氏が選定された。続いて、群馬県医師会裁定委員選任の件が上程され、浦野 恭氏、石澤慶春氏、飯山三男氏、原 勉氏、佐藤喜和氏、櫻井芳樹氏、久保 博氏、最上建治氏が選任された。次に群馬県医師会顧問委嘱の件が上程され、正田博之氏、鈴木憲一氏、佐藤和徳氏、月岡関夫氏、梅枝定則氏、小島 章氏が顧問に委嘱された（任期：令和4年6月23日から令和6年6月開催予定の群馬県医師会定時代議員会終結時まで）。令和5年度群馬県医師会入会金、会費及び負担金の賦課徴収及び減免に関する件が上程され可決された。

〈議事〉

第1号議案 令和3年度群馬県医師会会計決算の件

第2号議案 群馬県医師会役員（会長、副会長）選定の件

第3号議案 群馬県医師会裁定委員選任の件

第4号議案 群馬県医師会顧問委嘱の件

第5号議案 令和5年度群馬県医師会の入会金、会費及び負担金等の賦課徴収及び減免に関する件

3. 第154回臨時代議員会

令和5年3月23日、代議員72名中、70名の出席を得て県医師会大ホールにおいて開催した。

令和5年度群馬県医師会事業計画書・収支予算書の件、群馬メディカルセンターについて、群馬リハビリテーション病院についての報告の後、令和4年度群馬県医師会会費減免申請の件が上程され可決された。次に、日本医師会予備代議員に、吉川守也氏が選出された（任期：令和5年3月23日から令和6年6月開催予定の日本医師会定例代議員会の前日まで）。続けて、新群馬メディカルセンター建設の件が上程され可決された。

〈報告事項〉

令和5年度群馬県医師会事業計画、収支予算書の件

群馬メディカルセンターについて

群馬リハビリテーション病院について

〈議事〉

第1号議案 令和4年度群馬県医師会会費減免申請の件

第2号議案 日本医師会予備代議員補欠選出の件

第3号議案 新群馬メディカルセンター建設の件

第2. 理事会

24回開催し、会務全般の執行に努めた。なお、議事については群馬県医師会報に掲載した。

第1回 開催日：令和4年4月13日 於：群馬県医師会

第2回 開催日：令和4年4月27日 於：群馬県医師会

第3回 開催日：令和4年5月13日 於：群馬県医師会

第4回 開催日：令和4年5月31日 於：群馬県医師会

第5回 開催日：令和4年6月14日 於：群馬県医師会

第6回 開催日：令和4年6月30日 於：群馬県医師会

第7回 開催日：令和4年7月14日 於：群馬県医師会
 第8回 開催日：令和4年7月28日 於：群馬県医師会
 第9回 開催日：令和4年8月10日 於：群馬県医師会
 第10回 開催日：令和4年8月29日 於：群馬県医師会
 第11回 開催日：令和4年9月15日 於：群馬県医師会
 第12回 開催日：令和4年9月29日 於：群馬県医師会
 第13回 開催日：令和4年10月13日 於：群馬県医師会
 第14回 開催日：令和4年10月27日 於：群馬県医師会
 第15回 開催日：令和4年11月14日 於：群馬県医師会
 第16回 開催日：令和4年11月30日 於：群馬県医師会
 第17回 開催日：令和4年12月15日 於：群馬県医師会
 第18回 開催日：令和4年12月27日 於：前橋市内
 第19回 開催日：令和5年1月13日 於：群馬県医師会
 第20回 開催日：令和5年1月27日 於：群馬県医師会
 第21回 開催日：令和5年2月14日 於：群馬県医師会
 第22回 開催日：令和5年2月28日 於：群馬県医師会
 第23回 開催日：令和5年3月15日 於：群馬県医師会
 第24回 開催日：令和5年3月30日 於：群馬県医師会

第3．郡市会長会議

12回開催し、会務全般の執行に努めた。議事については群馬県医師会報に掲載した。

新型コロナウイルス感染症対策を施した上で、7月には「歓送迎会」、12月には「受章（賞）及び永年勤続役員・職員表彰祝賀会」、1月には「新年会」を開催した。なお、例年1月に開催している「敬寿会」は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

第1回 開催日：令和4年4月20日 於：群馬県医師会
 第2回 開催日：令和4年5月19日 於：群馬県医師会
 第3回 開催日：令和4年6月17日 於：群馬県医師会
 第4回 開催日：令和4年7月21日 於：前橋市内
 第5回 開催日：令和4年8月18日 於：前橋市内
 第6回 開催日：令和4年9月21日 於：前橋市内
 第7回 開催日：令和4年10月20日 於：群馬県医師会
 第8回 開催日：令和4年11月18日 於：群馬県医師会
 第9回 開催日：令和4年12月20日 於：高崎市内

〈受章（賞）者〉4名

春の叙勲・旭日双光章：田島郁文 先生

春の叙勲・瑞宝双光章：正田弘一 先生

群馬県功労者表彰：大竹雄二 先生

群馬県功労者表彰：長坂資夫 先生

〈永年勤続役員〉5名

20年：西松輝高 先生、吉川守也 先生

10年：須田浩充 先生、森 弘文 先生、堀越健太郎 先生

〈永年勤続職員〉4名

第10回 開催日：令和5年1月20日 於：前橋市内（敬寿会は中止）

敬寿会員総数370名（白寿2名、米寿9名、喜寿32名）。米寿・喜寿の先生方には、後日、記念品をお贈りした。

第11回 開催日：令和5年2月17日 於：前橋市内

第12回 開催日：令和5年3月17日 於：群馬県医師会

第4．官庁連絡会議

12回開催し、群馬県健康福祉部関係課をはじめ、関係機関との連絡、協議、情報交換を行った。なお、例年開催している移動会長会議、新年会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

第1回 開催日：令和4年4月6日 於：群馬県医師会

第2回 開催日：令和4年5月11日 於：群馬県医師会

第3回 開催日：令和4年6月3日 於：群馬県医師会

第4回 開催日：令和4年7月6日 於：群馬県医師会

第5回 開催日：令和4年8月3日 於：群馬県医師会

第6回 開催日：令和4年9月6日 於：群馬県医師会

第7回 開催日：令和4年10月4日 於：群馬県医師会

第8回 開催日：令和4年11月2日 於：群馬県医師会

第9回 開催日：令和4年12月6日 於：群馬県医師会

第10回 開催日：令和5年1月6日 於：群馬県医師会

第11回 開催日：令和5年2月3日 於：群馬県医師会

第12回 開催日：令和5年3月3日 於：群馬県医師会

第5．各種委員会

委員会の開催状況は次のとおり。

1．公衆衛生委員会

開催日：令和4年7月11日（WEB開催）

2．厚生事業委員会

開催日：令和4年5月12日

3．広報・会報編集委員会

開催日：令和4年6月2日（WEB開催）

4．医療保険委員会

開催日：令和4年7月13日、11月29日、令和5年1月26日（全てWEB開催）

5．地域包括ケアシステム委員会

開催日：令和4年7月15日（WEB開催）

6．学術・生涯教育委員会

開催日：令和4年9月27日（WEB開催）

7．産業衛生委員会

開催なし

8．介護保険委員会

開催日：令和4年12月15日

9．女性医師支援委員会

開催日：令和4年8月8日、12月7日

10. 医療関連職対策委員会

開催なし

11. 母体保護法指定医師審査委員会

開催日：令和4年10月27日

12. 勤務医委員会

開催日：令和4年7月25日（WEB開催）

13. 学校保健委員会

書面開催

14. 救急・災害医療対策委員会

開催日：令和4年11月16日（WEB開催）

15. 医療事故対策委員会

書面開催

16. 小児保健委員会

開催なし

17. 精度管理委員会

開催なし

18. 定款改正委員会

開催なし

19. 感染症・予防接種対策委員会

開催なし

20. 労災・自賠責委員会

開催なし

21. 医療情報システム委員会

開催なし

22. 選挙管理委員会

書面開催

23. 将来ビジョン検討委員会

(1) 群馬メディカルセンター分科会

開催日：令和4年7月28日、令和5年1月18日

(2) 群馬リハビリテーション病院分科会・グループ討議

分科会開催日：令和4年8月19日、9月10日、10月19日、12月9日、令和5年1月24日

グループ討議開催日：Aグループ 令和5年2月9日、3月13日

Bグループ 令和5年2月16日、3月17日

Cグループ 令和5年2月20日、3月10日

第6. 関東甲信越医師会連合会

医師会本来の目的である医道の高揚、医学及び医術の発達並びに公衆衛生の向上を図り、社会福祉を増進することを達成するため、関東甲信越地区の各都県医師会で構成する関東甲信越医師会連合会の事業に積極的に参加し、各都県医師会相互の連絡協調、日本医師会に対する協力及び意見具申を行うため、東京都医師会の担当により下記のとおり各種会議が開催された。

(1) 常任理事会 3回

(2) 理事会 2回

- (3) 定例大会 1回（ハイブリッド開催）
- (4) 医療保険部会 1回（WEB開催）
- (5) 介護保険・地域包括ケア部会 1回（WEB開催）
- (6) 救急災害部会 1回（WEB開催）
- (7) 医師会共同利用施設分科会（新潟県医師会担当）
- (8) 関医連所属医師会長・日本医師会代議員合同会議 2回

第7. 関東甲信越静地区衛生主管部（局）長・医師会長合同協議会

神奈川県と神奈川県医師会の担当により関東甲信越静地区の衛生主管部（局）長と担当者及び医師会役員の協力を得て、行政と医師会が係わる医療に関する諸問題について書面にて協議・開催された。

1. 新型コロナウイルス感染症

- (1) 新型コロナウイルス感染症対応に関する現状と今後の問題点について
—令和4年度診療報酬改定をふまえて—
- (2) 埼玉県、埼玉県医師会協働で新型コロナ後遺症（罹患後症状）症例集を作成、かかりつけ医に後遺症診療を積極的に進める取り組みに関して
- (3) B.1.1.529系統（オミクロン株）が主流となっている現状での新型コロナ対応

2. 医師の働き方改革

- (1) 医師の働き方改革と宿日直許可について
- (2) 2024年スタート予定の医師の働き方改革と救急医療の維持について
- (3) 医師の働き方改革（救急・周産期）

3. サイバーセキュリティ

- (1) 医療機関のサイバーセキュリティ対策について
- (2) 医師会会員のサイバーセキュリティ対策の現状について

4. その他

- (1) 第8次医療計画に向けた各県の取り組みについて
- (2) 地域包括ケアシステム構築に関する都県・行政と郡市区・行政の連携・協働実態について
- (3) 学校医の不足について現状及び課題とその対策について
- (4) がん検診受診率向上のための取組について
- (5) キャリア形成プログラムに係る医師の配置調整について

第8. 日本医師会

1. 第151回日本医師会定例代議員会

開催日：令和4年6月25日

出席者：須藤英仁、西松輝高、川島 崇、今泉友一、有坂 拓

報告：令和3年度日本医師会事業報告の件

議事：第1号議案 令和3年度日本医師会決算の件

第2号議案 日本医師会役員（会長、副会長、常任理事、理事、監事）及び裁定委員選任の件

第3号議案 日本医師会役員（会長、副会長、常任理事）選定の件

2. 第152回日本医師会臨時代議員会

開催日：令和4年6月26日

出席者：須藤英仁、西松輝高、川島 崇、今泉友一

議事：第1号議案 令和5年度日本医師会会費賦課徴収の件

3. 第153回日本医師会臨時代議員会

開催日：令和5年3月26日

出席者：須藤英仁、西松輝高、川島 崇、今泉友一、藤塚 勲

報告：令和5年度日本医師会事業計画及び予算の件

議事：第1号議案 日本医師会定款・諸規程一部改正の件

4. 都道府県医師会長会議

3回開催された。

(1) 開催日：令和4年9月20日

(2) 開催日：令和4年11月15日

(3) 開催日：令和5年1月17日

5. 群馬県医師会選出の日本医師会役員及び委員会委員等

任期（令和3年度～令和4年度）

(1) 常任理事：釜范 敏

(2) 医師の働き方検討委員長：須藤英仁

(3) 学術推進会議委員：須藤英仁

(4) 議事運営委員会委員：川島 崇

(5) 予防接種・感染症危機管理対策委員会委員：川島 崇

(6) 准看護師試験準備委員会委員：長坂資夫

(7) 医師会共同利用施設検討委員会委員：猿木和久

(8) 有床診療所委員会委員：猿木和久

(9) 医療安全対策委員会委員：渡邊秀臣

(10) 医療情報システム協議会運営委員会委員：服部徳昭

(11) 医療秘書認定試験委員会委員：服部徳昭

(12) 医療IT委員会委員：服部徳昭

(13) 病院委員会委員：鶴谷英樹

(14) 会員の倫理・資質向上委員会委員：美原 盤

(15) 未来医師会ビジョン委員会委員：須藤雄仁

(16) 選挙管理委員：清宮和之

(17) 予備選挙管理委員：渡邊秀臣